

目黒区美術館年報 平成 12 年度

目黒区美術館年報
平成12年度

お詫びと訂正

日数と数字等に誤りがありましたので、お手数ですが、差し替えてお読み下さい。

P. 58 Ⅲ. 入館状況 下線が訂正部分です。

展覧会名	会期	開催日数	総数	1日平均	会場	備考
所蔵作品展	12年3月11日～	14日間	2,328人	166人	A,B,C,L	全期間32日間
アーティストの絵手紙展	12年4月16日	(12年度分)	(12年度分)	(12年度分)		3,722人
第37回 朝日陶芸展	12年4月22日～ 12年5月28日	32日間	6,320人	198人	A,B,C,E,L,w	
一陶の標	12年6月10日～	38日間	2,177人	57人	A,B,C,E,L,w	
山田 光展	12年7月23日					
粟辻 博展—色彩と空間の テキスタイル	12年8月2日～ 12年9月20日	43日間	5,800人	135人	A,B,C,E,L,w	
第10回 染・清流展	12年10月9日～ 12年11月15日	32日間	2,844人	89人	A,B,C,E,L,w	
青木 野枝展	12年11月23日～	30日間	4,904人	163人	A,B,C,E,L,w	
—軽やかな、鉄の森—	12年12月27日					
めぐろの子どもたち展	13年1月13日～ 13年1月28日	14日間	8,442人	603人	A,B,C,E,L,w,G	
目黒アート・アニュアル2000 —14作家の個展	13年2月3日～ 13年2月25日	20日間	3,576人	179人	A,B,C,E,L,w	
所蔵作品展 絵画観測方 「えをかくやりかた、えをみるでだて」	13年3月3日～ 13年4月8日	25日間 (12年度分)	1,175人 (12年度分)	47人 (12年度分)	A,B,C,E,L,w	全期間32日間 (1,882人)
合 計		248日間	37,566人	151人		

目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	53
III. 入館状況	58
IV. 作品収集	59
V. 作品等貸出	61
VI. 刊行	62
VII. 区民ギャラリー	63
VIII. ボランティア	65
IX. 美術館実習	66
X. 名簿	67
XI. 施設	68
XII. 沿革	69
XIII. 案内	70

I. 展覧会

第37回 朝日陶芸展

会期：2000（平成12）年4月22日～5月28日（32日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館、朝日新聞社

担当学芸員：福永重樹、正木基

巡回スケジュール：1999年9月2日～9月7日 名古屋市 丸栄スカイル
1999年9月18日～10月17日 滋賀県 陶芸の森信楽産業展示館
1999年10月20日～11月28日 福井県 陶芸館
2000年1月22日～2月20日 高浜市 やきものの里かわら美術館
2000年4月22日～5月28日 東京都 目黒区美術館

朝日陶芸展は、1963年に創設され、陶芸の分野では、戦後の全国規模で最も長い歴史を持つ公募展として、多くの新進気鋭の作家を輩出しています。今回で37回目を迎え、全国都道府県から658点と、2番目の数字を記録しました。

その中から「朝日陶芸グランプリ」の今井美奈氏をはじめとする入賞9点、入選120点の作品を展示した。

● カタログ

サイズ：21.0×29.7

ページ数：75ページ

内容：ごあいさつ（主催者）／第37回朝日陶芸展の審査を終えて（審査委員長 加藤清之）／審査風景／審査委員審査所感、入賞作品／入選作品／入賞・入選者リスト／応募者統計グラフ歴代入賞者・審査委員一覧／歴代グランプリ受賞作品

● ポスター

サイズ：B3

● チラシ

サイズ：A4

● 主要関連記事

「火と土 独創の造形」 朝日新聞朝刊1999年8月29日



会場風景



B3ポスター

出品リスト

No.	作家名	作品名	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	
1	今井美奈	5×5の形態	50×202×202	朝日陶芸グランプリ
2	榮 一男	21世紀へのmessage「バランス」	90×195×35	朝日陶芸秀作賞
3	久木 綾	モヌケノカラ	25×100×40	朝日陶芸秀作賞
4	加藤 顕	'99	42×125×30	朝日陶芸秀作賞
5	熊谷さくら	発我	150×40×40	新人陶芸賞
6	福島寛子	呉須絵矢門緋文大鉢	16×48×46	特別賞 (川崎記念賞)
7	吉竹 弘	CHAIN	35×120×40	陶芸奨励賞
8	佐藤ハルコ	午前0時のプレゼント	11×160×160	陶芸奨励賞
9	由良利枝子	無題	17×19×176	陶芸奨励賞
10	石添秀正	HAON	30.3×53×49	
11	阪口浩史	流層	37.5×53×45	
12	山口重信	宇宙のリズム NO.4-3	23×60×80	
13	柳橋 進	幻影	60×78×28	
14	森 丁斎	備前広口花器	47.5×39.2×34.2	
15	鈴己幸應	飛鳥文偏壺	58×55×40	
16	森田高正	『参』	75×78×80	
17	木村彰弘	月の記録	100×65×22	
18	小坂奈奈恵	囁囁	150×83×62	
19	金 正逸	空間の形式	41×82×12	
20	長沢和仁	記憶	12.5×50×50	
21	森 克徳	曲の形象	30×201×45	
22	河見美左子	ポレポレ・三姉妹	70×80×80	
23	辻 重利	作品99-7～サンテイヤゴ・デ・コンポステラへの道・再び～	130×188×30	
24	加古勝美	倭陶俑	76×18×19	
25	宮本雅夫	黄地布目紅彩金魚文平皿	8×52×52	
26	松嶋 弘	備前大皿	8.5×59.5×59.5	
27	豊田志郎	皿	9×32×32	
28	前川幸市	気	50×65×65	
29	今井兵衛	作品 99-7	34×52×49	
30	小平健一	外楽②	50×50×50	
31	岸上秀一	PLAN-T	60×55×35	
32	木村年克	SO 99-exist-	75×45×83	
33	宮部トモヒロ	十字形の無題	70×260×15	
34	坂井輝夫	青磁鉢	25.5×54.5×52	
35	田中光謙	粉淡塗三器	46×46×15	
36	杉本孝司	青瓷組鉢	5.5×25×25	
37	戸出雅彦	連昌寺周辺	15×140×140	
38	阿 奴	THRO	39×24×20.5	
39	江崎紀子	ガイア 21	43×86×23	
40	慶野ことり	反大地 '99-1	76×160×60	
41	越智通信	ドット一対	50×120×90	

No.	作家名	作品名	寸法 (cm)
42	STEVENWARD	SEALED BY FIRE-2	35×100×100
43	大谷江一	編みつくり皿-I	100×100
44	吉岡 順	染付ボビー文組皿 (絵変り 6 枚)	3.2×28.5×28.5
45	新美芳昭	獵志野グラデーション'99	7×180×65
46	加納義満	土の実・土花	23×155×155
47	横山美幸	泣き笑い	18×120×91
48	笹山留衣	氣器群	30×180×90
49	西村緋紹子	共生	50×60×60
50	若尾圭介	鼎	54×7×46
51	西出真英	動	62×43×35
52	黒瀬收紀	刷毛目組皿	7×85×55
53	太田冬亀	備前叩長方皿	5×77×43
54	中村太一	白いうつわ	15.5×62×43.5
55	高橋 恵	RUN OVER	29×195×75
56	加藤 佑	作品99'-1	30×95×75
57	白木加寿恵	HIDA	40×100×200
58	辻本恵子	「やすらぎ」	57×100×70
59	大竹 直	作品99	100×100×60
60	江崎紀子	1 / 2 の神話	56×41×21
61	中島友之	織部の器	34×68×52
62	吉川博治	鉄釉鉢	25×32×32
63	正宗 悟	備前長方面取鉢	22×43.5×38
64	吉丸 崇	土鈴“宝珠”	33×70×50
65	千田玲子	IASYS	42×120×60
66	三方敏行	ホワイト・ドーム	45×90×90
67	小川博久	織部 糸目文反転台皿	7.2×49×49
68	丹波 斌	水面文大皿	7.5×46×83.5
69	天野勝義	pacific ocean	8.5×55.5×55.5
70	すずき たもつ	地にしゅむ。もっと、ぶりぶり	60×250×250
71	下村順子	地平線	92×250×120
72	浦西健司	無題	75×230×15
73	藤森 寛	灰釉壺	42×43×43
74	神谷啓介	象嵌大壺	57×56×56
75	伊東祐一	青 彫文扁壺	43.5×33.5×32
76	伊藤光則	連繫	40.5×150×16
77	重松 康夫	FEATHER ball	48×46×46
78	中坊元美	Shin・音	57×153×80
79	松本頼明	BIZEN 花器	85×31×31
80	脇本博之	備前花器	53×28×27
81	長谷川邦雄	IN THE RAIN (雨の中) 赤志野 花器	61×55×31
82	渡辺ヒロ子	「もういいかい まあだだよ」	45×117×51

No.	作家名	作品名	寸法 (cm)
83	佐保川昌子	反撥	40×110×135
84	山仲久美子	たたかうものたち I	65×40×100
85	山田雅之	汀	7×45×45
86	河端一海	青白磁 草文皿	8.5×51×51
87	塚田光弘	キロロの風	14×67×51
88	杉山史裕	緋の搭V	60×52×52
89	吉竹広子	壺中情景	70×26×26
90	北村信樹	work99.7- 2つの痕跡-	75×60×50
91	今井裕子	spread-1999.8-	33×200×55
92	餘吾ひろこ	崩壊する魂	28×190×28
93	竹内真吾	Cameras	13×180×30
94	永尾忠次	掛分象嵌樹林文鉢 静寂	15.5×53×53
95	小山耕一	金銅白金彩幾何文七角鉢	16×51×51
96	塚本治彦	織部流紋鉢	23×72×70
97	浦部喜子	不自由のなかの自由	67×120×100
98	杉本たけ子	CLAY WORK'99 II	40×135×110
99	樋渡さえ子	音入れ	36×100×65
100	中地永大彌	無題	15×80×55
101	伊達陽一	風の板	14×80×56
102	鹿島アヤ子	流麗	10×63×56
103	星 卷	Prologue 220×85×66	
104	李 善美	病弊した評壇	150×200×110
105	佐藤暉子	萌芽	84×37×26
106	水谷俊雄	Body	67×53×33
107	樽沢泰文	MASS-99	72.5×54×54.5
108	井原義雄	コスモ	110×34×25
109	昼馬和代	水分に関する記憶'99	72×63.5×21
110	南部次郎	Weather VII	55×55×65
111	鍛冶ゆう子	超空間	63×63×153
112	加藤智也	あうん-1	50×100×50
113	AGNES HUSZ	森のピーナス	27×53×30
114	水野真澄	スパイラル	107×105×30
115	杉谷恵造	OLIBE 99-1	75×78×25
116	羽鳥恵子	航路	43.5×38×18.5
117	北岡 務	斬・螺	30×36×36
118	富岡大介	うねり	45×43×43
119	厚川樹里	蹟	70×61×11
120	井上博和	そこに在る	51×68×68

新匠工芸会春季展

会期：2000（平成12）年5月10日～5月21日（11日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、新匠工芸会

担当学芸員：福永重樹

新匠工芸会は1947年に創設され、春と秋に展覧会活動を行っている。常に現代に即した創造的な作品であることを趣旨として制作された作品を展示紹介した。

● カタログ

作品リストコピー

サイズ：25.5×36.0 c m 1 ページ

● ちらしなど

案内はがき

サイズ：14.8×10.0 c m

作品リスト

No.	氏名	品目	題名
陶磁			
1	江口 滉	角皿	四十八願文の皿
2	金常 清	花器	樹葉白化粧抜絵花器
3	川原 康孝	平鉢	染付法相華文平鉢
4	川原 康孝	鉢	染付法相華文鉢
5	川原 康孝	平鉢	染付連続文平鉢
6	川原 康孝	平鉢	染付連続文平鉢
7	甲本 章人	花器	
8	甲本 章人	壺	
9	近藤 知子	花器	線状文花器
10	皿谷 緋佐子	花器	彩土文花器・数珠玉A
11	皿谷 緋佐子	花器	彩土文花器・数珠玉B
12	皿谷 緋佐子	皿	彩土文皿・数珠玉C
13	高橋 正光		釉彩草花文蘆物
14	高橋 正光		釉彩土筆文蘆物
15	福田 参平	壺	黒泥搔落水仙文
16	前田 昭博	壺	白蕨面取壺
17	森みの里	鉢	象嵌朝顔文三足鉢
18	森みの里	盒子	象嵌みつまた文盒子
19	森みの里	壺	象嵌豆葉文壺
20	木村 節子	陶器ワグシユ	ポーカーフェイスⅠ
21	木村 節子	陶器ワグシユ	ポーカーフェイスⅡ
22	後藤 乃婦子	花入	陽刻枇杷文花入
23	後藤 乃婦子	中皿	陽刻花文中皿ⅠⅡⅢ
染織			
24	生島 潤子	帯	春を告げる
25	生島 潤子	帯	初夏を告げる
26	伊砂 利彦	パネル	自然への回帰
27	伊砂 利彦	パネル	廃墟を渡る月
28	伊砂 利彦	屏風	夜ざくら
29	伊砂 新雄	カクストリー	能シリーズ 雪
30	伊砂 新雄	カクストリー	能シリーズ 櫻川
31	井上 和子	染額	讃歌Ⅰ
32	井上 和子	染額	讃歌Ⅱ
33	上原 晴子	着物	緑陰
34	小川 良子	着物	さくら重ね
35	荻野 美穂子	カクストリー	早春譜Ⅱ
36	桑島 順子	カクストリー	白い月と実のなる木
37	東海林 杏子	染織カクロー	the sign of the wind
38	嶋野 徑子	着物	驟雨
39	鈴木 敬子	カクストリー	ADAGIO『真』

No.	氏名	品目	題名
40	田口 尚八	額	吉野山慕情
41	中村 夢泉	訪問着	片栗染・花筐
42	星澤 美喜子	屏風	樹響
43	宮崎 トキ	友禅染箔帯	桜
44	安岡 桂子	染額	月影の横断歩道
45	吉田 国廣	訪問着	サギ草
46	飯塚 美絵	着物	作品・Nを偲んで
47	今泉 郁子	オブジェ	耳を付けた布
48	川上 貴子	タペストリー	RainbowDrops (B)
49	川上 貴子	タペストリー	RainbowDrops (W)
50	川上 貴子	額	『有珠山』
51	川辺 美津子	染立体	紫いも
52	熊谷 雅	平面	再生
53	呉羽 陽子	タペストリー	水のささやき
54	小高 みどり	パネル	Four to one and . . .
55	小高 みどり	額	『金の成る木』
56	佐々木 博子	額入り壁面	Shell Beach
57	佐藤 百合子	着物	風韻II
58	佐藤 百合子	帯	「春すぎて . . .」
59	矢川 由美子	着物	目に青葉 . . .
60	矢川 由美子	タペストリー	光の中で
61	米山 美代	訪問着	風紋
漆芸			
62	望月 重延		つぼみ
63	永田 一輝	花器	ジャカランダの季節
木工			
64	今井 歳郎		欅拭漆卓
金工			
65	佐土 浩一	銀角皿	渦・流・翻
七宝			
66	近藤 久野	雀胎七宝飾茶碗	「あけびの花」
67	近藤 久野	雀胎七宝飾茶碗	「初夏」
68	近藤 久野	雀胎七宝飾茶碗	「あせび」
69	近藤 久野	雀胎七宝飾茶碗	「飛翔」
70	近藤 久野	雀胎七宝飾壺	「風韻」
71	近藤 久野	雀胎七宝飾壺	「ほととぎす」
72	近藤 久野	雀胎七宝飾小壺	「五月雨」
73	近藤 久野	有線七宝茶入	「椿」
74	水野 藍	銀胎線文香炉	
75	水野 藍	黒味銅菓子器	
76	布施田 惇子	額	菖蒲

No.	氏名	品目	題名
77	布施田 惇子	額	蝶
78	布施田 惇子		水鳥
79	布施田 惇子		合子
80	布施田 惇子		合子

「DEJIMA2000」日蘭交流400周年記念現代絵画

会期：2000（平成12）年6月6日～6月18日（12日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、DEJIMA2000展実行委員会

助成：オランダ大使館、日本芸術文化振興基金、財団法人ポーラ美術振興財団

賛助：山本薫アートスタジオKyas.Com、有限会社インフィニティクラブ、
トヨタ自動車株式会社、TOYATA

担当学芸員：福永重樹

日本とオランダの交流400周年を迎える西暦2000年を機に、両国交流の歴史を振り返りつつ、現代オランダで活躍中の作家の作品を紹介した。

作品リスト

No.	氏名	題名	寸法
1	ユリアン・ヴァン・ホール	おすもうさん	1000×803
2	ユリアン・ヴァン・ホール	まいごさん	1000×803
3	ユリアン・ヴァン・ホール	街並	530×455
4	ユリアン・ヴァン・ホール	大阪城	652×530
5	ユリアン・ヴァン・ホール	富士山	803×1000
6	ユリアン・ヴァン・ホール	富士山	530×730
7	ユリアン・ヴァン・ホール	富士山	500×652
8	ユリアン・ヴァン・ホール	富士山	455×530
9	ゲイズ・ダンカー	富士山	500×652
10	ゲイズ・ダンカー	富士山	455×530
11	ゲイズ・ダンカー	富士山	803×1000
12	フィル・ブルーム	SUZANNE	1430×1370
13	フィル・ブルーム	Deer	141×138
14	フィル・ブルーム	ANTIERS	1430×1560
15	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	220×270
16	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	240×300
17	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	400×250
18	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	200×250
19	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	200×200
20	ユステイヌ・アルブロンダ	RED	250×350
21	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	200×200
22	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	300×350
23	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	400×300
24	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	300×180
25	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	250×350
26	ユステイヌ・アルブロンダ	BLUE	400×300
27	エドウィン・ハーゲンドーン	ユステイヌ像	270×220
28	エドウィン・ハーゲンドーン	ヌード①	1000×1400
29	エドウィン・ハーゲンドーン	ヌード②	1245×1600
30	ヤナカ・ピエッガーズ	人物画8点	803×803

— とうの標 — 山田光展

会期：2000（平成12）年6月10日（土）～7月23日（日）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ

主催：目黒区美術館

助成：財団法人地域創造（ジャンボ宝くじ助成事業）

協力：マスダスタジオ

担当学芸員：佐川夕子

巡回スケジュール：1999年9月4日（土）～10月17日（日） 伊丹市立美術館（近作展）

2000年4月4日（火）～5月14日（日） 岐阜県美術館（回顧展）

山田光（1923年生まれ）は、戦後、八木一夫・鈴木治らとともに前衛陶芸家集団・走泥社^{そうでいしゃ}を設立し、やきものを用いる器としてではなく土による造形として捉え、陶芸の新しい道を切り開いてきた先駆的な作家のひとりである。

本展では、1940年代の初期の花器から戦後のいわゆるオブジェ焼、「塔」などのシリーズ作品、黒陶による面の作品、新作のインスタレーションなどを含む約130点で、陶芸家・山田光の半世紀にわたる活動を回顧した。

関連催事：講演会「戦後美術運動と走泥社」 講師・益田芳徳（ガラス作家）

● カタログ

サイズ：A4変形 [縦29.7×横22.0cm]

ページ数：184ページ

内容：あいさつ／謝辞／盲亀（山田光）／山田光君と私（高島国男）／新作について（大河内菊雄）／図版：作品、器／陶に標す—山田光の半世紀をたどる（正村美里）／山田光の文章から／年譜／参考文献／出品リスト／写真撮影

● ポスター

サイズ：B2 A3

● チラシ

サイズ：A4

● 主要関連記事

- ・「[文化往来] 前衛陶芸家 山田光の初回顧展、作品130点」『日経新聞』2000年5月4日
- ・「底に禅味を帯びた世界観『陶の標—山田光展』」(三)『朝日新聞』(夕刊)2000年6月30日



会場風景



B2ポスター

出品リスト *印のついているNo.の作品は目黒会場では展示しなかったもの

No.	作品名	制作年	技法・素材	サイズ (cm)	所蔵先
1	作品	1955年	黒釉	23.3×19.0×29.6	
2	作品	1956年	黒釉	35.0×30.5×30.5	和歌山県立近代美術館
3	作品	1956年	焼締	25.0×32.0×25.0	
4	作品	1956年	焼締	25.0×24.0×24.0	
5	作品	1957年	焼締	22.5×28.0×25.0	
6	二つの塔 (作品)	1959年	焼締	(左) 20.5×11.0×80.5 (右) 20.0×11.0×75.0	和歌山県立近代美術館
7	声	1961年	伊羅保釉	20.0×19.5×63.0	
8	声	1961年	焼締	27.0×18.0×47.0	
9	塔	1962年	オリベ釉	14.0×9.0×63.0	広島県立美術館
10	塔	1963年	オリベ釉	36.0×16.0×39.0	
11	塔	1964年	伊羅保釉	35.0×22.0×60.0	和歌山県立近代美術館
12	塔	1964年	焼締	53.0×11.0×29.0	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
13	窓	1966年	焼締	47.5×6.0×40.0	京都国立近代美術館
14	窓	1966年	焼締	29.0×6.0×39.5	広島県立美術館
15	窓	1966年	焼締	23.0×17.5×71.0	滋賀県立陶芸の森
16	陶壁 (碑)	1967年	焼締	23.0×5.0×59.0	
17	陶壁	1969年	焼締	50.0×6.0×41.0	和歌山県立近代美術館
18	球体のある箱	1969年	かき釉、黒伊羅保、焼締	51.0×9.5×21.0	
19	球体のある陶面	1969年	かき釉、焼締	13.7×12.7×76.5	
20	陶標	1971年	かき釉、流し掛け	17.0×16.0×112.0	
21	白の間隙	1971年	かき釉、白化粧、焼締	48.0×7.5×59.0	
22	白の間隙	1971年	かき釉、白化粧	37.0×12.0×45.0	
23	白い標	1972年	白化粧、焼締	32.0×9.0×31.0	
24	数字の曲面	1972年	白化粧、焼締	19.5×6.0×37.0	
25	曲線のある陶面	1972-76年	白化粧、青釉、焼締	19.0×5.1×48.3 (台座含まず)	
26	陶片曼荼羅	1973年	白化粧、かき釉	41.7×8.0×51.5	和歌山県立近代美術館
27	交叉する陶面	1974年	白化粧、焼締	37.5×5.0×44.5	
28	消えゆく壺	1976年	白化粧、焼締	36.4×9.6×46.3	
29	消えゆく壺	1976年	焼締	22.5×19.5×26.0	
30	陶面の中の凸面	1976年	白化粧、練込、焼締	35.0×9.0×63.0	
31	遠くからの声	1976年	白化粧、焼締	33.0×7.0×43.0	
32	1 の場	1976年	白化粧、焼締	15.0×10.0×52.0	
33	1 の周辺	1976年	白化粧、焼締	34.5×6.0×40.0	
34	凹凸のある陶面	1976年頃	白化粧、かき釉、焼締	21.3×8.3×59.8	
35	陶面の中の数字	1978年	白化粧、焼締	29.5×8.0×50.0	国立国際美術館
36	消えゆく 1	1978年	白化粧	18.5×10.5×43.5	
37	消えた 1	1978年	白化粧、焼締	25.5×6.0×47.0	広島県立美術館
38	連	1979年	伊羅保釉	36.0×12.0×44.0	
39	箱とパイプ	1979年	伊羅保釉	12.5×13.5×50.0	和歌山県立近代美術館
40	点の集合	1979-80年	白磁、木	24.5×36.5	

No.	作品名	制作年	技法・素材	サイズ (cm)	所蔵先
41	点の集合	1979-80年	黒陶、木	23.5×28.0	
42	陶器陶板	1980年	白磁、木	21.5×47.0	
43	陶板 パイプ	1980年頃	白磁、木	19.5×5.5×36.2	
44	陶器陶板	1980年頃	白磁、木	27.3×38.8	
45	黒陶 交互に開く窓	1981年	黒陶、鉄	31.5×12.0×54.0	
46	黒陶 開く・円	1981年	黒陶	25.7×8.4×51.0	
47	黒陶 陶面の中のパイプ	1981年	黒陶	25.0×9.0×61.0	
48	黒陶 窓	1981年	黒陶、鉄	31.0×13.0×54.0	
49	黒陶 開く窓	1981年	黒陶	34.0×8.0×44.5	滋賀県立陶芸の森
50	黒陶と金彩の窓	1981年	黒陶、真鍮	31.0×7.5×40.0	
51	化粧の塔	1981年	白化粧、流し掛け	38.5×12.0×41.5	
52	化粧の塔	1981年頃	白化粧、流し掛け	25.7×14.4×57.7	
53	黒陶 スクリーン	1982年	黒陶	29.5×8.5×55.5	和歌山県立近代美術館
54	黒陶 窓	1982年	黒陶	53.5×7.0×19.7	
55*	白磁陶板	1983年	磁土・ニュージールランド [®] カリン・木	23.1×32.2	
56	窓	1983年	白化粧、焼締	46.0×12.0×50.5	和歌山県立近代美術館
57	黒陶 数字と窓	1984年	黒陶	85.0×9.0×19.0	
58	黒陶 スクリーン	1984年	黒陶	36.0×8.0×60.0	世界思想社教学社
59	黒陶 耳と窓	1985年	黒陶	80.0×13.0×23.5	世界思想社教学社
60	黒陶 作品	1985年	黒陶	147.0×76.0×21.0	
61	黒陶 作品	1985年	黒陶	62.5×64.5	
62	黒陶 作品	1987年	黒陶	各53.8×58.0×4.0	京都市美術館
63	銀泥 陶壁	1987年	銀泥	23.5×5.7×43.9	
64	黒陶 陶壁	1987年頃	黒陶	30.0×15.5×33.5	
65	銀彩 陶壁	1988年	銀泥	31.0×13.4×36.4	世界思想社教学社
66	金彩陶片	1989年	金彩陶片、鉄、ビニール糸	32.0×67.0×5.0	
67	作品	1989年	黒陶、銀泥	各36.0×2.0×95.0	
68	銀泥 陶標	1990年	銀泥	21.5×3.0×69.5	世界思想社教学社
69	黒陶 陶壁	1990年	黒陶	34.9×14.7×50.1	集雅堂
70*	銀泥 陶壁	1990年	銀泥	52.0×15.0×36.0	世界思想社教学社
71	銀泥 陶壁	1991年	銀泥	30.5×18.0×62.0	
72	銀泥 陶標	1991年	銀泥	31.0×10.5×64.5	
73	銀泥 陶標	1991年	銀泥	32.5×11.0×54.5	
74	銀泥 窓	1991年	銀泥	47.0×34.0	
75	銀泥 陶板とメジャー	1992年	銀泥、メジャー、木	72.5×32.0	
76	銀泥 陶板	1992年	銀泥、木	52.0×33.0	
77	銀泥 作品	1992年	銀泥	460.0×30.0×57.0	
78	黒陶 スクリーン	1992-93年	黒陶	77.2×4.9×20.6	
79	銀泥 陶壁	1993年	銀泥、ステンレス	93.5×3.0×28.0	
80	黒陶 スクリーン	1993年	黒陶	29.5×14.5×90.0	
81	黒陶 陶板	1993年	黒陶	34.5×56.0	

No.	作品名	制作年	技法・素材	サイズ (cm)	所蔵先
82*	銀泥 陶板	1993年	銀泥	46.4×42.1	
83	銀泥 スクリーン	1993年	銀泥	26.2×15.2×86.2	
84	銀泥 スクリーン	1994年	銀泥	34.0×17.5×56.5	世界思想社教学社
85	銀泥 スクリーン	1994年	銀泥	50.0×10.5×26.3	
86	銀泥 パイプ	1994年	銀泥	60.0×13.0×24.0	世界思想社教学社
87	銀泥 楕円のパイプ	1995年	銀泥	42.2×5.6×61.2	
88	銀泥 矩形とパイプ	1995年	銀泥	38.5×8.0×56.5	
89	銀泥 矩形と折れたパイプ	1996年	銀泥	82.0×2.5×39.0	滋賀県立陶芸の森
90	銀泥 はしご状のパイプ	1996年	銀泥	36.0×4.5×63.5	
91	銀泥 横に延びるパイプ	1998年	銀泥	101.0×9.0×35.0	
92	銀泥 横に延びるパイプ	1999年	銀泥	1.168×h.250,210,170,130 (各5点)	
93	銀泥 凹面のある箱とパイプ	1999年	銀泥	各34.0×37.0×112.0	
94	銀泥 分割された円とパイプ	1999年	銀泥	各17.0×19.0×143.0	
95	銀泥 箱とパイプ	1999年	銀泥	各59.0×59.0×110.0	
96	銀泥 球状とパイプ	1999年	銀泥	φ 65.0×h.105.0	
97	白化粧象嵌櫃文皿	1946年頃	白化粧、象嵌	φ 31.2	
98	白化粧象嵌壺	1947年	白化粧、象嵌	φ 29.0×h.30.0	
99	柿釉搔取壺	1947年	柿釉、搔取	φ 28.0×h.26.0	
100	伊羅保搔落壺	1948年	伊羅保釉、搔落	φ 29.0×h.25.0	
101	白化粧線彫花器	1951年	白化粧、線彫	φ 17.0×h.25.0	
102	二つの口の壺	1952年	白化粧、線彫	φ 26.0×h.22.0	
103	作品	1953年	伊羅保釉、白化粧、鉄釉	12.5×13.0×26.0	和歌山県立近代美術館
104	切った壺	1953年	伊羅保釉、線彫	φ 10.0×h.42.0	
105	切った壺	1953年	鉄褐色釉	φ 10.0×h.33.0	
106	作品	1953年	伊羅保釉、抜蠟	18.0×17.0×29.0	
107	作品 花生	1953年	黄瀬戸釉	21.1×15.0×23.0	
108	(八木一夫デザイン・門工房製作) 千点紋タンブラー 湯呑 小皿	1962年	白化粧	タンブラー：φ 7.0×.16.9 湯呑：φ 6.5×h.9.0 皿：φ 14.5	
109	鉄描線文皿	1963-65年	白化粧、鉄釉	各φ 15.7×h.2.2	
110	黄釉鉢 小鉢 小皿	1964年頃	黄釉	鉢：φ 19.5×h.6.6 小鉢：各φ 9.5×h.6.3 小皿：各φ 11.0×h.5.6	
111	伊羅保釉花生	1967年	伊羅保釉	10.0×9.6×36.0	京都府立総合資料館
112	呉須刷毛目輪立	1967年	呉須	w.6.2~7.4×h.26.7~35.7	
113	球体のある花生	1969年頃	かき釉	φ 14.5×h.14.4	
114	白化粧 穴のある花生	1970-74	白化粧	14.5×13.5×13.5	
115	灰釉籠花生	1972-76年	灰釉	15.3×5.5×32.0	
116	灰釉籠花生	1972-76年	灰釉	14.5×4.5×36.4	
117	オリベ釉籠花生	1972-76年	オリベ釉	13.2×4.8×35.8	

No.	作品名	制作年	技法・素材	サイズ (cm)	所蔵先
118	数字のある花器	1976年頃	練込	φ11.3×h.30.9	
119	白釉壺	1991年以降	白釉	φ16.0×h.20.5	
120	白磁花器	1980年代	白磁	φ29.0×h.32.5	
121	白青磁筒香炉 香合	1985年	青白磁	香炉：φ10.4×h.10.2 香合：φ7.5×h.4.8、φ6.5×h.4.8	
122	灰釉茶碗	1989年	灰釉	φ14.7×h.5.8	
123	灰釉茶碗	1989年	灰釉	φ12.3×h.7.4	マスダスタジオ
124	鉛釉茶碗	1989年	鉛釉	φ13.4×h.7.5	マスダスタジオ
125	唐津風皮鯨茶碗	1991年	灰釉、鉄釉	φ13.2×h.7.7	
126	信楽茶碗	1992年	信楽土	φ12.7×h.7.8	
127	水滴一式	1990年頃	銀泥/青白磁/朱泥/鉄釉	円：各8.3×7.5×3.0 茶：6.5×5.5×6.5 銀：6.2×5.3×6.0	
128	白釉汲出 急須 杯 德利 等一式	1959年頃以降 のデザイン		白磁 急須：w.13.8 杯：φ5.4 德利：φ6.6×h.12.2 土瓶：w.16.8、w.12.2、小皿：w.11.1、ボウル：φ16.8、灰皿：w.10.0	汲出：φ7.4
129	銀泥カップ 銘々皿 花生一式	1995年以降 1988-99年	白磁、銀泥	カップ：φ5.4～7.4×h.8.5～10.6 皿：w.9.8、w.17.2 花生：φ4.0×h.24.4	

第5回 昭和シェル石油現代美術賞展

会期：2000（平成12）年8月1日～8月20日（18日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、昭和シェル石油株式会社

担当学芸員：福永重樹

昭和シェル石油現代美術賞は埋もれた新進作家を発掘し、将来性ある才能を美術界に送り込むことを目的に創設され、毎年、一般公募して優秀作品に賞を授与し、受賞作品、入選作品を展示紹介している。

目黒区美術館区民ギャラリーでの展覧会開催は3回目で、本展では、準グランプリ作品3点、審査員賞3点、入選作品57点を展示、紹介した。

● カタログ

サイズ：21×25.7

ページ数：46ページ

内容：審査所感（目黒区美術館館長 福永重樹、多摩美術大学教授 本江邦夫、フランス美術評論家連盟 岡部あおみ）／図版／第5回昭和シェル石油現代美術賞入賞入選者リスト



会場風景



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
1	野津紗恵子	楽園追放	2000	油彩、キャンバス	145.5×112.1
2	松田圭一郎	UNTITLED B	2000	トランスファードローイング、パネル	103.0×145.0
3	山岸美恵子	希 求	2000	油彩、キャンバス	116.7×80.3
4	小川奈々誉	体内の記憶	2000	岩絵具、箔、和紙、パネル	145.5×112.1
5	代崎芳子	風の使者	2000	アクリル、キャンバス	112.1×145.5
6	竹中勇人	さみだれ	2000	アクリル、綿布、パネル	143.2×91.7
7	中野武夫	領域<緑 1 >	2000	アクリル樹脂絵具、パネル	144.0×114.0
8	岩本幸生	沈 思	2000	アクリル、キャンバス	145.5×112.1
9	森下展行	美術の時間 II	2000	アクリル、キャンバス	112.1×145.5
10	青木一也	絵子がはじめて蝶を取った日 パパはだんだん狂いはじめた	2000	油彩、キャンバス	112.1×145.5
11	松枝藏人	記憶した風景	2000	パステル、色鉛筆、火、綿布	145.5×145.5
12	森 竹巳	Construction C	2000	アクリル、クリップ、パネル	136.0×136.0
13	岡村祐佳	瑞々しい時間	2000	油彩、キャンバス	112.1×145.5
14	藤本恭枝	another room	2000	油彩、パネル	112.1×145.5
15	藤井浩一郎	無 題	2000	油彩、ワイヤー、キャンバス、パネル	143.5×114.5
16	竹村芳樹	作 品	2000	油彩、合板	145.5×145.5
17	中村美知生	ぼくの領分00-610	2000	紙に墨写版、スクラッチ、スタンピング、カラーインク	117.0×91.0
18	菱刈俊作	庭園論	2000	アクリル、再生紙、金網	144.5×90.5
19	高柴牧子	光の寓話	2000	油彩、硬質ウレタン、キャンバス	140.0×91.0
20	川那部綾	grid work 17	2000	アクリル、ステンレススティール	145.0×112.0
21	久嶋太一	a page - yellow	2000	アクリル、黄ボール紙	120.0×145.0
22	廣沢 晃	Untitled	2000	アクリル塗料、パネル	145.5×145.5
23	荻野高正	悠久の丘	2000	テンペラ、キャンバス	116.7×116.7
24	馬場健太郎	檸檬の泉	2000	油彩、顔料、蜜蝋、麻布	112.1×145.5
25	坂本梨沙	雨ノ音 II	2000	油彩、綿布、パネル	145.5×145.5
26	西山ひろみ	It's me	2000	錆 (茶色)、紙	144.0×113.0
27	佐藤陽香	ここからはじまる	2000	アクリル、綿布、パネル	121.0×145.0
28	三浦洋子	沈む音	2000	油彩、綿キャンバス	145.5×112.1
29	稲垣弘子	work III	2000	油彩、キャンバス	145.5×145.5
30	加藤 弘	静かな夏 (黄)	2000	油彩、綿布	145.5×112.1
31	佐藤純也	Vacancy	2000	油彩、キャンバス	112.1×145.5
32	平野牧子	予言の鳥	2000	油彩、キャンバス	130.3×130.3
33	桶本裕香子	標	2000	油彩、キャンバス	116.7×90.9
34	大平 暁	刻 - 2000	2000	アクリル、綿布、パネル	91.0×140.0
35	山下博巳	flood	2000	アクリル、キャンバス	145.5×145.5
36	伊藤 孝	スクエアな関係 - 求める心たち	2000	油彩、キャンバス	145.5×112.1
37	小椋芳子	消費期限 1	2000	アクリル、ペン、鉛筆、パネル	120.0×120.0
38	児山より子	空豆君 II	2000	岩絵具、和紙、パネル	90.9×116.7
39	岩田奈緒	無 題	2000	油彩、キャンバス	145.0× 111.0
40	宇野之雅	Yellow Line	2000	油彩、キャンバス	145.5×112.1

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
41	奥野稔和	00V-0505Z	2000	インク、紙、シナベニア	91.5×137.0
42	玉木之子	幕 屋	2000	油彩、布	130.0×145.0
43	永井桃子	HANASAKA 1	2000	油彩、布、板	114.0×91.0
44	佐竹宏樹	fake flower	2000	油彩、和紙、プリント布地、パネル	122.0×145.5
45	鈴木 淳	diamond	2000	油彩、キャンバス	130.3×130.3
46	麻生隆悟	窓	2000	アクリル、キャンバス	145.5×112.1
47	吉田泰則	hearts and stripes	2000	染料、綿布	145.0×145.0
48	灰塚茂生	みまもる	2000	アクリル、墨、パステル、和紙、パネル	145.5×145.5
49	佐藤優子	耳	2000	アクリル、綿布、パネル	122.5×144.5
50	北浦信一郎	聖 戦	2000	油彩、キャンバス	145.0×145.0
51	川島沙紀子	くちはついているのです	2000	油彩、キャンバス	112.1×145.5
52	竹内 誠	共生関係	2000	アクリル、キャンバス	90.9×116.7
53	出射 茂	3つの時間	2000	油彩、綿布、パネル	90.9×116.7
54	居城純子	() のあいだに	2000	油彩、綿布、パネル	100.0×145.5
55	稲永友子	自由意識	2000	油彩、パネル	89.4×130.3
56	矢野幸彦	20×20	2000	アクリル、色鉛筆、キャンバス	112.1×145.5
57	伊藤喜久也	S60,2000	2000	アクリル、キャンバス	130.3×130.3
58	長 はるこ	B-cushion # 17	2000	ミクストメディア、キャンバス	142.0×142.0
59	渡辺麻貴子	膜	2000	エナメル、パネル	112.1×145.5
60	山下幸高	fortune (1)	2000	アクリル、キャンバス	90.0×135.0
61	布施新吾	ノウシントウ	2000	アクリル、キャンバス	145.5×112.1
62	伊丹弥生		1999	オイルスティック、ジェッソ、ニス、パネル	112.1×145.5
63	星野容子	Lead	2000	木炭、水彩紙、パネル	112.1×145.5

栗辻博展 色彩と空間のテキスタイル

会期：2000（平成12）年8月2日～9月20日（35日間）

会場：展示室A、展示室B、展示室C、展示ロビー、ワークショップ、エントランスホール

主催：目黒区美術館、日本経済新聞社

担当学芸員：矢内みどり

巡回スケジュール：2000年5月16日～7月2日 京都国立近代美術館

栗辻博（1929～1995年）は、京都に生まれ、京都市立芸術大学を卒業し、カネボウ意匠課を経て東京にデザインスタジオを設立した。日本のテキスタイルデザインを世界的な水準まで引き上げ、布を媒介とした自立したデザイン思想を確立した。その造形力は、建築空間の装飾や、食器、家具にまで及び、安藤忠雄、三宅一生ら幅広い人脈と共に活躍した。本展は約200点による栗辻の「表層のデザイン」の集大成としての初の回顧展であった。

● カタログ

サイズ：24.0×22.4cm A4サイズ変形

ページ数：207ページ

デザイン：栗辻デザイン、栗辻美早

内容：あいさつ（主催者）／栗辻博の新しさ（田中一光）／栗辻博展によせて（内田繁）／栗辻博の生みだしたデザイン（柏木博）
栗辻博による表面（尾崎信一郎）／栗辻博の作品との三つの接点（内山武夫）、図版、スライド・レクチュア再録「サーフェスとしてのテキスタイル」（栗辻博）、作品リスト、年譜、参考文献等

● ポスター

サイズ：B2サイズ、B3サイズ

デザイン：栗辻デザイン、栗辻美早

● チラシ

サイズ：A4サイズ（両面4色）

デザイン：栗辻デザイン、栗辻美早

● 関連記事

藤塚光政「スペース・テキスタイルへの情熱」小池一子「栗辻博の仕事と生活」

京都国立近代美術館ニュース 2000年6～7月号（389号）

内田繁「夏の時代に生まれたテキスタイル」インタビュー、『ハイファッション』

2000年6月号P.273

中野稔「京都で栗辻博回顧展 テキスタイル駆使、表層デザイン開拓」Next

関西、日本経済新聞、2000年6月8日夕刊

加藤義夫『「機能美」の可能性拡大』展覧会、日本経済新聞、2000年6月13日夕刊

早瀬寛美「空間を視覚的に彩る 栗辻博展」くらしの美 産経新聞、2000年6月

11日朝刊21面

若「気配変える 強く柔軟な布」アート前線 朝日新聞、2000年6月21日朝刊26面

関連催事：2000年8月6日 講演会「生活から生まれたデザイン」（栗辻早重）

2000年8月29日 ワークショップ「布の可能性」（日比野克彦）



B2ポスター

No. (カタログNo.)	作品名	制作年	素材	サイズ (cm)
1 (001)	順番	1955	油彩	80.0×116.5
2 (002)	逃道	1955	油彩	112.2×162.1
3 (032)	ホワイトバレエ	1973	綿	
4 (024)	小目玉	1969	綿	
5 (030)	トロピカル	1971	綿	
6 (031)	ビッグサラダ	1973	綿	
7 (014)	根っ子	1967	綿	
8 (018)	まゆ	1969	綿	
9 (027)	無限	1969	綿	
10 (012)	手の花	1967	綿	
11 (016)	リンネン (レッド)	1968	綿	
12 (023)	メノカゼ	1969	綿	
13 (013)	つた	1967	綿	
14 (022)	黒目玉	1069	綿、麻	156.0×15.0
15 (015)	熊	1967	綿、麻	250.0×80.0
16 (120)	ジドウシャ	1983	綿	
17 (062)	イロガミ	1978	綿	
18 (041)	ウィークエンド	1973	綿	
19 (088)	バーランド	1971	綿サテン	
20 (073)	エノグ	1979	綿	
21 (096)	リンゴ (ブラック)	1978	綿	
22 (096)	リンゴ (ピンク)	1978	綿	
23 (126)	カップ	1983	綿	
24 (093)	イチゴ	1978	綿	
25 (121)	エハガキ (ミックス)	1983	綿	
26 (095)	ナナイロ (ホワイト)	1976	綿	
27 (095)	ナナイロ (ブラック)	1978	綿	
28 (089)	オーガスト (ブルー)	1973	綿	
29 (097)	ナッパ	1979	綿	
30 (099)	イエ (グレー)	1980	綿	
31 (110)	ラクエン	1981	綿	
32 (101)	ニジノクニ	1980	綿	
33 (100)	オカシヤ	1980	綿	
34 (105)	ミズアソビ	1980	綿	
35 (094)	フラワー	1978	綿	
36	ヒコウキ	1982	綿	
37 (058)	タナバタ	1977	綿	
38 (117)	トケイ	1983	綿	
39 (046)	セブテンバー	1974	綿	
40 (043)	バースデー	1874	綿	
41 (091)	シャドウ (ブルー)	1974	綿	
42 (115)	ヨゾラ	1982	ポリエステル	
43 (116)	バナナ	1982	ポリエステル	
44 (114)	ジテンシャ	1982	ポリエステル	
45 (112)	ブドウ	1982	ポリエステル	
46 (111)	ナツ	1982	ポリエステル	
47	ゴムノキ	1984	ポリエステル、コットン	
48 (180)	ハーブ	1991	ポリエステル、コットン、サテン	
49 (138)	アス (グレー)	1984	ポリエステル、コットン	
50 (131)	ランダム	1984	ポリエステル、コットン	
51 (113)	ホシクズ	1981	ポリエステル、コットン	
52 (161)	バラ	1989	ポリエステル、コットン	
53 (124)	ハラッパ (ホワイト)	1983	ポリエステル、コットン	
54 (123)	ハナビ	1983	ポリエステル	

No. (カタログNo.)	作品名	制作年	素材	サイズ (cm)
55	ミチクサ	1984	ポリエステル、コットン	
56 (129)	カゲエ	1984	ポリエステル、コットン	
57 (133)	サン	1985	ポリエステル、コットン	
58 (128)	タキ	1984	ポリエステル、コットン	
59~77 (211)	フリーフォームチェアーのカバー	1968		
78 (171)	コンポジション (グレー)	1987	綿	
79 (172)	ヒシガタ	1987	綿	
80 (144)	プール	1986	綿	
81 (143)	イチ (グレー)	1986	綿	
82 (083)	カーブ	1986	綿	
83 (064)	イシケリ (ブラウン)	1979	綿	
84 (051)	パレード	1974	綿	
85 (050)	プロローグ	1974	綿	
86 (033)	hの柄	1968	綿	
87 (145)	ジカン (パープルグレー)	1987	綿	
88 (077)	オカ	1981	綿サテン	
89 (152)	オドリ	1986	綿	
90 (188)	バラ	1992	綿サテン	
91 (166)	デコ	1986	ポリエステル、コットン	
92 (177)	ハナ	1989	綿	
93 (178)	フブキ	1989	綿	
94 (181)	フウモン	1990	綿サテン	
95 (137)	タバ	1985	綿	
96 (142)	ナミ	1986	綿	
97 (139)	スミ	1985	綿	
98 (184)	アヤ	1992	綿サテン	
99 (159)	ラジオ	1988	綿	
100 (165)	キリコ	1991	綿	
101 (141)	フィルム	1987	綿	
102 (109)	トダナ (レッド)	1980	綿	
103 (109)	トダナ (グレー)	1980	綿	
104 (114)	ジテンシャ	1982	綿	
105 (090)	コロナ	1974	綿	
106 (089)	オーガスト	1973	綿	
107 (102)	クダモノタチ	1980	綿	
108 (103)	ヤサイタチ (ブラウン)	1980	綿	
109 (103)	ヤサイタチ (グリーン)	1980	綿	
110 (108)	デンキュウ	1980	綿	
111 (146)	ヤケイ	1988	綿	
112 (155)	数	1988	綿	
113 (157)	華	1988	綿	
114 (164)	景	1991	綿	
115 (153)	壮	1988	綿	
116 (158)	積	1988	綿	
117 (156)	響	1988	綿	
118	SAKA	1992	ボンチャイナ	
119	KESHIKI	1990	ボンチャイナ	
120	KAZARI	1990	ボンチャイナ	
121	KOSHI	1990	ボンチャイナ	
122 (239)	YUME	1992	ボンチャイナ	φ 31.0
123	UMI	1990	ボンチャイナ	
124	NAMI	1990	ボンチャイナ	
125	MIKI	1988	ボンチャイナ	
126	WAN	1990	ボンチャイナ	

No. (カタログNo.)	作品名	制作年	素材	サイズ (cm)
127	DAN	1990	ボンチャイナ	
128	SONO	1990	ボンチャイナ	
129 (233)	HANA	1988	ボンチャイナ	φ 31.0
130 (236)	MAI	1988	ボンチャイナ	φ 19.0
131 (235)	KAZE	1988	ボンチャイナ	φ 23.0
132 (162)	重	1988	綿	
133 (085)	マイ	1985	綿サテン	
134 (183)	タムロンダ	1991	コットン、レーヨン	
135 (182)	カルテラス	1991	綿	
136 (190)	道	1993	綿	
137 (191)	展	1993	綿	
138 (193)	輪	1993	綿	
139 (003)	素描	1955	インク	35.1×50.8
140 (004)	素描	1955	インク	35.1×50.8
141 (005)	素描	1955	インク	50.8×35.1
142 (218)	二脚が一つになった椅子	1979	木	77.0×47.0×51.0
143 (223)	タマゴのテーブル	1993	アクリル	110.0×110.0×700.0
144 (222)	時計	1986	スチール	φ 24.0
145 (224~9)	内装用タイル	1989	タイル	

第10回 染 清流展

会期：2000（平成12）年10月9日（月）～11月15日（水）（32日間）
会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ エントランスホール
主催：目黒区美術館、清流会
協賛：大松株式会社
担当学芸員：福永重樹
巡回スケジュール：2000年7月4日～9日（日） 京都市美術館

清流会は毎年、染色の中心地・京都を舞台に活躍する優れた染色作家を選抜し展覧会を開催、作品収集を続けている。京都展は1991（平成3）年から京都市美術館で開催されているが、目黒区美術館では4回目の開催。本展では各世代にわたる56作家による66作品で構成。伝統に立脚しつつ革新と拡張を続ける染色の最前線の多彩な成果を紹介。

本年は第2部「天然藍の魅力」として全国阿波藍染職作家協会会員展を開催した。

● カタログ

第10回 染 清流展
サイズ：29.7×21.0
ページ数：127ページ

内容：ごあいさつ（美術評論家・木村重信）、ごあいさつ（大松株式会社社長・小澤淳二）／第10回染・清流展によせて（京都美術館長・上平貢）／図版（作品解説=作家）／作家略歴／出品目録 展覧会歴・第1回～第10回 出品作家記録

第2回 阿波藍染展
サイズ：21.0×21.0
ページ数：46ページ

内容：ごあいさつ（全国阿波藍染織作家協会・森山虎雄）／作品紹介

● ポスター

サイズ：B2

● チラシ

サイズ：A4

● 関連催事

第2回 阿波藍染展

ア. ワークショップ

開催日：11月9日（木）/10日（金） 11月11日（土）/12日（日）

天然藍灰水発酵建て教室（1コース2日間）

参加者：25名

開催日：11月14日（火）/15（水）

藍染体験

参加者：30名

イ.ギャラリートーク

開催日：11月9日（木）

午前11:00 藍染の話 参加者：65名

午後2:00 すくも作りの話 参加者：75名



B2ポスター

出品リスト

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)
1	上野真知子	untitled	絹、銅線、楮、酸性染料／編、紙すき	210×270×15
2	麻田脩二	WORK D-1	木綿、樹脂顔料／ステンシル	147×210
3	伊砂利彦	交 無機的表現による	和紙／型絵染	240×240
4	伊砂新雄	曜	雲肌麻紙／型絵染	175×172
5	石田杜人	Oの椅子	木綿布、反応染料／蠟染、ステンシル	180×350
6	市村富美夫	森の記憶	絹布、酸性染料、顔料／スクリーン捺染	240×270
7	稲垣光知子	こもれび	麻布／型染 (ステンシル糊防染)	250×180
8	井隼慶人	蔵	綿布、反応性染料／ローケツ染	160×350
9	弥永保子	南の島からの贈りもの-Passionate Island-	絹布、酸性染料／蠟糊併用防染	各160×160 (2点組)
10	大久保直丸	冬日 Kordepareiを	綿布／ローケツ染、反応性染料 (プロシオン)、ソーダー灰固着法	175×310
11	大谷千恵	風の軌跡	絹 (サテン)、酸性染料／蠟染	180×360
12	荻野美穂子	早春譜 (III)	木綿、レマゾール染料／型絵染、糊防染	185×180
13	奥中孝誕	路上観察	綿、麻／プリント、フロッキー加工、ラミネート加工	洋服仕立て (7点組)
14	加藤正二郎	AQUATIC SPACE I	まわた紬、酸性染料／型捺染、筒描き	180×142
15	加藤正二郎	AQUATIC SPACE II	まわた紬、酸性染料／型捺染、筒描き	180×142
16	加藤由起	苗族の女	麻布、直接染料、植物染料／ろうけつ染、ダック防染	177×316
17	兼先恵子	「朧月夜の女君」其の一-源氏物語・花宴の帖-	綿布、反応性染料／糊型染及びステンシル、ミシンワーク、その他	200×92
18	兼先恵子	「朧月夜の女君」其の二-源氏物語・花宴の帖-	綿布、反応性染料／糊型染及びステンシル、ミシンワーク、その他	200×92
19	河田孝郎	那覇1999	シルクウール、紗、酸性染料／ろう防染、のり防染、コラージュ	210×310
20	喜多川七重	アンダーグラウンド	ナイロン布、天然染料、化学染料／糊防染 (型、蒔糊)、エッチング	181×243
21	来野月乙	少年期・上の姉と私	宣紙、顔料／臈緞	168×340
22	木村菜穂子	ロトの娘たち	絹、顔料／ステンシル	155×312
23	草間喆雄	HORIZON	綿糸、レーヨン糸、アルミパイプ／反応性染料	58×335×10
24	倉内 啓	INLAND SEA SPACE <notari-notari>	和紙、顔料／型染 (糊防染)	各180×180 (二曲一双)
25	栗原知枝	哀歌 (エレジー)	半洋生平 (麻)／ろう染、エッチング	190×300
26	黒田暢	私の個展	木綿、レマゾール (反応性染料)／型染	150×140
27	澁谷和子	Spring Has Come	綿布、パネル／捺染、型染	140×330
28	志村光広	十字架のある風景	綿布／捺染	250×114
29	志村光広	エッセイの樹	綿布／捺染	230×114
30	新道弘之	藍染木綿 (I)	木綿／藍染独自技法	300×55
31	新道弘之	藍染木綿 (II)	木綿／藍染独自技法	300×55
32	高谷光雄	記憶の探究	信州紬、酸性染料、三度黒／ろうけつ染、エッチング	170×170
33	高谷光雄	パンドラの箱	信州紬、酸性染料、三度黒／ろうけつ染、エッチング	170×170
34	田島征彦	樹 妄想	天竺木綿、反応性染料 (レマゾール染料)、顔料／型染	213×203
35	鳥羽美花	雨上がり-サイゴンより	白山紬、酸性染料／型染	225×288
36	内藤英治	こもれ陽	木綿布／藍型染、藍染	174×173
37	中井貞次	桂林	麻布／布に蠟防染を施し、植物染料の藍 (すくも藍) 溶液の中に浸染	160×410
38	長尾紀壽	型絵染屏風 亜熱帯の島	雲肌麻紙／蠟防染、型染、ドローイング	各180×180 (二曲一双)
39	中野光雄	迷宮都市-ラリトプル	和紙、顔料、植物染料／型染、ステンシル	180×300
40	中東淑子	記憶-しろい貝のはこ	麻布、反応染料／蠟けつ染	91×170
41	中東淑子	記憶-くろい貝のはこ	麻布、反応染料／蠟けつ染	91×170

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)
42	柳楽 剛	夏さぶ	木綿布、反応性染料/ろう染	160×200
43	西嶋武司	薫風春律	大麻(手裂・手紡・手織)/渋紙・型糊防染、アンストラゾール染料スレン染	各190×90(4点組)
44	平井真人	build-忘んなよ2000	アフリカ綿、流木、合板、ブルーシート、植物染料(ログウッド、福木)、直接染料/糊防染、縫い	200×200(1点組)
45	廣重 明	オリカエシ-00-I	和紙、油性インキ、水性インキ/版画、コラージュ、カッティング	175×80×7
46	廣重 明	オリカエシ-00-II	和紙、油性インキ、水性インキ/版画、コラージュ、カッティング	175×80×7
47	廣重 明	オリカエシ-00-III	和紙、油性インキ、水性インキ/版画、コラージュ、カッティング	175×80×7
48	福本繁樹	六曲一双屏風「二十四氣」	トルファン綿布、レマゾール染料/ろう染(チャンチン・刷毛引き技法、孔版・撒きろう技法、押捺版使用)	各200×210(2点組)
49	福本潮子	春風	麻布(横糸操作)、ガラス棒/藍染、絞り、暈し	200×190
50	福本潮子	秋風	麻布(横糸操作)、ガラス棒/藍染、絞り、暈し	200×190
51	藤本哲夫	WORK 2000-II	麻布、ポリエステル糸、不織布/植物染料(ログウッド-鉄媒染)	180×300×15
52	星野高志郎	海から空へ2000-S10	ロールスクリーン(布)、木枠(屏風仕立て)/合成樹脂塗料で布のロールスクリーン4枚に線描ドローイング	195×380
53	本田昌史	名人伝	木綿布、顔料/スクリーンプリント	230×340
54	本間晴子	PAZRUKA-39	木綿(タイ綿)、麻、ハトメ/オリジナルプリント、コラージュ	220×190
55	三浦景生	港讃歌	白山紬(絹)/布象嵌、コラージュ、ステンシル、ドローイング	各160×140(二曲一組)
56	皆川泰藏	月光のアクロポリス	ハンガリー麻布/藍濃染で染色、仕上げには樹脂で、プラチナ箔、本銀箔を押し、はがしたあと鉄筆で線彫り新技法	214×159
57	室田 泉	狂おしきこの世界	綿布、反応性染料、アクリル系顔料/スクリーンプリント	240×360
58	八幡はるみ	横縞布	木綿布、反応性染料、顔料/スクリーンプリント、絞り、その他の混合技法	230×200
59	山口通恵	ギャラクシー0505天気	綿布/シアノタイプ・プロセス、ステンシル、ドローイング	210×333
60	山中清恵	ONLY-ONE	綿布、反応性染料/ろう防染	200×273
61	山本唯与志	染四曲「埋もれた自然」	白山紬(絹)、酸性染料/手描ローケツ、ローケツシルクスクリーン、ステンシル、泥象裂併用染	180×320
62	吉田晃良	感触の次元-染み、滲み	和紙、こより、銀箔、植物染料、顔料/刷毛染色、手や指によるドローイング	110×110×5
63	吉田晃良	感触の次元-光と風	綿布、金箔、植物性染料、木、カシュ、塗料/刷毛染色	100×120×5
64	佐野猛夫	石みつつ	木綿布、反応性染料/蠟染	173×170
65	寺石正作	地平線A	木綿、天然染料/ろう染	170×150
66	本野東一	交響-A・B	木綿、パネル、反応性染料/蠟染	各180×170(2点組)

No.64~66は物故作家作品による十回展記念出品

第2部「天然藍の魅力」

出品リスト

No.	作家名	図録	分類	タイトル	技法	寸法 (cm)
1	諏訪 好風		着物	静凜	緋ほかし織・すくい織	
2	諏訪 好風	○	着物	銀河	すくい織・緋・ほかし織	
3	諏訪 好風		着物	夕浪	すくい織・ほかし織・緋	
4	諏訪 好風		着尺	古代白布絵緋	緋	
5	諏訪 好風		着尺	雪つむぎ	緋	
6	滝浦 成三		のれん	かぶ		
7	滝浦 成三	○	タペストリー	人物		
8	田村 悦一	○	額絵	鯉の滝昇り	筒描き	167cm×57cm
9	田村 悦一		のれん	鶴亀家紋	筒描き	170cm×150cm
10	渡辺 つる子	○	着物	袖地天平縞着物		
11	石川 綱洋	○	着物	朝霧の中に	糸目友禅	
12	石川 綱洋		額	古城	糸目友禅	
13	石川 綱洋		タペストリー	海峡	糸目友禅	
14	糸井 清子	○	絆天	革絆天	筆描き・筒描き	95cm×130cm
15	糸井 清子		のれん	宇宙	筒描き	160cm×140cm
16	牛田 りき	○	タペストリー	宴	糸目	
17	大塚 一男	○	旗	ひゅうもあhumor万古頌	軍隊紋り・竜巻紋り	296cm×76cm
18	大塚 一男		マント	マント		75cm×100cm
19	形山 榮依子	○	着物	道	紋り	
20	竹江 きみ恵	○	着物	むさし野の秋草		
21	竹江 きみ恵		着物	霞む山なみ		
22	中田 正幸	○	屏風	水紋	型・紋り	
23	成瀬 敬子	○	着物	波の路		
24	成瀬 敬子		タペストリー	ふるさと		
25	村田 徳行	○	着物	水の音	板締	
26	芳賀 信幸	○	タペストリー	宙	紋り	190cm×250cm
27	芳賀 信幸			水の調べ		100cm×173cm
28	飴村 秀子		タペストリー	神の刻	ローケツ	210cm×150cm
29	飴村 秀子	○	タペストリー	頌歌(詩篇66)	ローケツ	240cm×135cm
30	飴村 秀子		タペストリー	献心	ローケツ	230cm×130cm
31	飴村 秀子		タペストリー	彼方より	ローケツ	183cm×123cm
32	飴村 秀子		タペストリー	攝理	ローケツ	230cm×140cm
33	佐竹 幸郎	○	パネル	光と水と時(創造)	糊流し・ボカシ染	
34	佐竹 幸郎		パネル	恒久	筒・ハケ書	
35	佐竹 貴美恵	○		清流21世紀へ		
36	佐竹 貴美恵		タペストリー	めぐみ		
37	白方 宣年	○	着物	想いで縞	緋	
38	世良 ひとみ	○	タペストリー	流動	紋り	
39	田屋 富美子	○	着物	やぶ椿	型染	
40	田屋 富美子					
41	田屋 東行	○	着物	菊まんざら	型染	
42	松本 悦子	○	タペストリー	気II	たて緋・絵緋	200cm×98cm
43	松本 悦子		タペストリー	ニューヨーク・ニューヨーク	たてよこ緋・もじり織	210cm×88cm
44	真鍋 藍浦		額	塩田跡に今も残る浜灯明台	糊注ぎ流し描き	
45	真鍋 藍浦	○	額	瀬戸内水島灘	紋り	
46	勇 真人		額	優美	皮革の藍染	
47	観林 登子・玉 万立子(合作)	○		99S-1		全16枚
48	古庄 紀治	○	額	新星I		
49	古庄 紀治		額	新星II		
50	森田 裕子	○	タペストリー	縞山	板締め	140cm×160cm
51	米山 のぶ子	○	のれん	雨畑旅情	空目紋り・板締め	148cm×163cm
52	米山 のぶ子		着尺	ひのき紋様	縫い紋り	1反
53	権田 宜子	○	タペストリー	波の風		300cm×90cm
54	佐藤 裕子	○	タペストリー	風の旋律	紋り	

No.	作家名	図録	分類	タイトル	技法	寸法 (cm)
55	野口 日出	○	宙吊りタペストリー	遊星	片野絞り	200cm×90cm
56	野口 日出		のれん	薄明かり	板締め	180cm×90cm
57	野口 日出		タペストリー	師をしのぶ	片野絞り	180cm×60cm
58	森 和子	○	着物	縋縄遊び	紬・すくい織	
59	生駒 暁		着尺	無地 (頭ずり)		
60	生駒 暁	○	帯	童子		
61	小川 靖弘	○	飾布	市松紋飾布 2000-I	ローケツ	180cm×180cm
62	小川 靖弘		飾布	市松紋飾布 2000-II	ローケツ	200cm×180cm
63	小川 裕恵		パネル	窓シリーズ「今日は晴」	絞り	190cm×124cm
64	小川 裕恵	○	パネル	窓シリーズ「陽ざし」	絞り	180cm×180cm
65	神山 恵子	○	タペストリー	醒ヶ井の清流	絞り	210cm×130cm
66	岸野 頼楽	○	着物	入子菱文着物	手蜘蛛絞り	
67	岸野 頼楽		着物	藍彩木立着物	手蜘蛛絞り	
68	岸野 頼楽		着物	二升絞り街着	手蜘蛛絞り	
69	岸野 頼楽		染布	手蜘蛛の華	手蜘蛛絞り	350cm×95cm
70	松本 輝雄	○	着物	御所解		
71	松本 輝雄		帯	松竹		
72	横山 修	○	着物	大島紬柿渋引		
73	横山 修		帯	市松に丸		
74	横山 修					
75	原田 史郎		タペストリー	Water fall		
76	原田 史郎	○	屏風	深山有情	型染・筒描き	
77	原田 史郎		屏風	潮の韻	ハケ引き	
78	原田 史郎		着物	水の尾	型染	
79	村上 千晶	○	タペストリー	集う	絞り	280cm×110cm
80	山本 和子		パネル	満ちてくる潮	ローケツ・絞り	143cm×123cm
81	大茂 文則		着尺	優華壇 (割入)		
82	中江 均		ストール	箴音A		
83	中江 均		ストール	箴音B		
84	田中 比呂司		着物	和	緋	1250cm×38cm
85	田中 比呂司		着物	玉流	緋	1250cm×39cm
86	森山 虎雄	○	着物	久留米の園	久留米緋	
87	森山 哲浩	○	着物	里の秋	久留米緋	
88	山村 省二	○	着尺	月	久留米緋	

青木野枝展—軽やかな、鉄の森

会期：2000（平成12）年11月23日～12月27日（30日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館

協賛：イセ食品株式会社、資生堂、(社)企業メセナ協議会認定

助成：芸術文化振興基金

協力：株式会社制作美術研究所、ユミコチバアソシエイツ

担当学芸員：降旗千賀子、山田敦雄、佐川夕子、(家村珠代)

青木野枝は（1958年生まれ）は、一貫して鉄の彫刻をつくりつづけている、現在、日本を代表する彫刻家のひとり。生命の営みや日常の風景を創作の出発点とする作品は、増殖する生命体のようにあり、鉄でありながら軽やかさを感じさせる。初期作品から新作まで、彼女の作品で埋め尽くされた美術館全体は、軽やかな、鉄の深い森となり、現代における芸術がもつ本来的な力と可能性が呈示された。

また、本人によるワークショップを4回開催し、同時にギャラリーツアーを行い、627名に及ぶ小学生が参加した。

●カタログ

サイズ：A4変型

デザイン：伊勢功治

ページ数：68ページ

内容：ごあいさつ（主催者）／作品（インスタレーション図版）／出品リスト／テキスト：青木野枝展をめぐって（家村珠代）

ボリュームについて（青木淳）溶断する手、足（石内都）／資料（略歴・展覧会歴・主要参考文献・作品データ・出品歴）

●ポスター

サイズ：B2

デザイン：伊勢功治

●チラシ

サイズ：A4

デザイン：伊勢功治

●主要関連記事

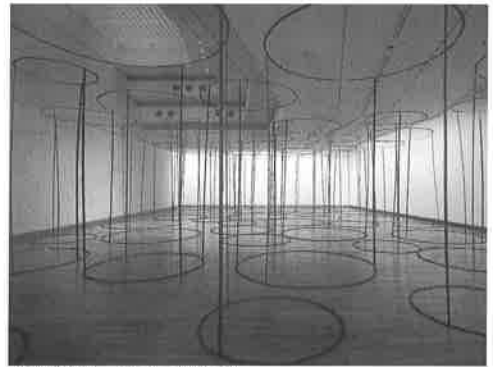
- ・「青木野枝展 軽やかな、鉄の森」『新美術新聞』No.911 2000年11月21日号 美術年鑑社発行
- ・宝生正彦「[文化] 軽やかで厳しい『鉄の森』 青木野枝展」『日本経済新聞』2000年11月29日
- ・田中三蔵「[美術] 青木野枝展／鶴岡美紀展 今と違う『場』へ導く鉄とゴム」『朝日新聞』2000年12月8日夕刊
- ・前田恭二「[私のいる風景] 青木野枝さん；鉄 溶断の繰り返し 苦行じゃない どこかへ到達出来そう」『読売新聞』2000年12月9日夕刊
- ・Haruko Kawai「Oh, THE IRON-Y of it all」『THE DAYLY YOMIURI』2000年12月21日
- ・三田晴夫「[美術] 青木野枝展 鉄が刻む特異な線の軌跡 異次元感つのらせる新作」『毎日新聞』2000年12月19日夕刊
- ・村田真「[美術] かたまり感なく魅惑の空句 青木野枝展 『軽やかな、鉄の森』」『しんぶん赤旗』2000年12月20日
- ・池上ちかこ「青木野枝展—軽やかな、鉄の森；通り過ぎる雨のように」『いけ花龍生』No.490 2001年2月号



B2ポスター

出品リスト

	作品名	制作年	素材／技法	寸法 (cm)
1	NA90-1 untitled	1990年	鉄 (耐候性鋼t.12m/m) /溶断、溶接、ホルト留	h.146, 721×125
2	NA92-3 untitled	1992年	鉄 (耐候性鋼t.12m/m)、卵、銅線/溶断、溶接	h.200, φ 400
3	NA93-1 untitled	1993年	鉄 (t.12m/m) /溶断、溶接	[各] 305×80/12個
4	NA99-2 《亀池》	1999年	鉄 (t.9m/m) /溶断、溶接	[各] h.270, 170/9個連結
5	NA00-4 《寒天Ⅰ》	2000年	鉄 (t.12m/m) /溶断、溶接	h.330
6	NA00-5 《寒天Ⅱ》	2000年	鉄 (t.12m/m) /溶断、溶接	h.242, 400/3個連結



会場風景 photo:山本紉

めぐろの子どもたち展

平成12年度目黒区立幼稚園、
小・中学校連合展覧会

会期：2001（平成13）年1月13日～1月28日（14日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ 区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立心身障害学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：佐川夕子

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展 中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（心身障害学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成12年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この観賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時期に区民ギャラリーにて、北京市崇文区の児童・生徒書画作品展、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展も開催した。

●リーフレット

サイズ：A3（縦長四つ折）

内容：ごあいさつ（主催者）／幼稚園／中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／心身障害学級／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／展示室案内

●ポスター

サイズ：B3

●出品数：4,076点

（内訳…米国：50点、中国：93点、幼稚園：193点、小学校：2,008点、中学校：1,126点、身障学級：606点）



会場風景



B3ポスター

目黒アート・アニュアル2000—14作家の個展

井上慎個展/上松一条個展/内田千代子個展/古茂田杏子個展/古茂田美津子個展/柴田敏雄個展/田淵観齋個展
/長はるこ個展/中井幸一個展/西大記個展/沼田元氣個展/平野正樹個展/藤掛正邦個展/宮廻正明個展

会期：2001（昭和13）年2月3日～25日（20日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木基

毎年、開催されている『目黒区の美術・書』展を、前年に引き続き、美術館が作家を選抜する形式で行った企画。今回は、目黒区の美術・書などの振興に寄与された作家はもとより、日本の美術界の第一線で活躍される作家、さらには世界のアートフィールドで活躍されている作家を選抜、混沌としながらも活気溢れる目黒区美術の多様な表現形式と多彩な才能とを紹介した。油彩5作家（1作家は素描作品中心に出品）、日本画1作家、書2作家、版画2作家、工作1作家、写真インスタレーション1作家、写真2作家で構成した。展覧会タイトルを、今回限りで、「目黒アートアニュアル2000-14作家の個展」とし、14作家分のブースを作成し、14個展を同時開催する形式をとり、作家自身に約10～20点を基本とする出品構成を依頼した。

●パンフレット

寸法：29.7×21.1（A4）（会場無料配布用パンフレットは、14作家分冊、ただし美術館、図書館等公共機関寄贈用のみ合本化）

- ①井上慎個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）8頁
 - ②上松一条個展パンフレット（作家インタビュー（高橋照弘+正木基）、略年譜、参考文献、出品目録）8頁
 - ③内田千代子個展パンフレット（内田千代子「作品とギャラリーと私と」、略年譜、参考文献、出品目録）8頁
 - ④古茂田杏子個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）12頁
 - ⑤古茂田美津子個展パンフレット（正木基「古茂田美津子の絵画と《闘病日誌》」、略年譜、参考文献、出品目録）8頁
 - ⑥柴田敏雄個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）20頁
 - ⑦田淵観齋個展パンフレット（田淵観齋「こだわりから新しい書の流れへ」、略年譜、参考文献、出品目録）6頁
 - ⑧長はるこ個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）10頁
 - ⑨中井幸一個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）34頁
 - ⑩西大記個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）10頁
 - ⑪沼田元氣個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録、会場写真）23頁
 - ⑫平野正樹個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）16頁
 - ⑬藤掛正邦個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、イラストレーション進化図、出品目録）16頁
 - ⑭宮廻正明個展パンフレット（作家インタビュー、略年譜、参考文献、出品目録）15頁
- （以上すべてのインタビュー、略年譜、参考文献、出品目録とも正木基編）

●ポスター

寸法：A3

●チラシ

寸法：A3二つ折

●案内状（14作家個々人の個展案内状並びに全個展作家名記載案内状2種）

寸法：10.5×14.8（ただし沼田元氣のみ、4.4×3.9Cmのカード仕様）

●主要関連記事

「不自由な右手、左手で支え 洋画家・古茂田さん 色鉛筆、水彩画20点出品」『読売新聞』、2001年2月1日

「人・模・様 書の虫、1カ月で新作7点」（上松一条展）『毎日新聞』、2001年2月9日

「土曜文化 ギャラリー 平野正樹「Holes」シリーズより」『読売新聞』（夕刊）、2001年2月10日

「第2の処女航海 渾身の作品を創作 病に負けず画道をまっとう 古茂田美津子さん 目黒アートアニュアル 14作家が個展」『東急沿線新聞』、2001年2月11日

「郷愁さそう空想のカフェで 出会いのひとつを。ユニーク!!沼田元氣さんの個展」『毎日中学生新聞』、2001年3月18日

「PAPER'S GOD BY GENQUI NUMATA かつていた場所」『ソトコト』、No.20、2001年3月

「ぼくの伯父さんのカフェ・ヴィジョン アンクル・カフェの空想喫茶展覧会」『東京人』、No.165、2001年4月



沼田元氣個展会場風景



上松一条個展会場風景



A2ポスター

●井上慎個展出品目録

1	燻製のある静物	1942年	60.6×50.0	油彩・キャンバス	
2	埋立地と運河	1955年	65.2×90.9	油彩・キャンバス	
3	夏の日の記憶	1966年	116.7×97.0	油彩・キャンバス	第3回杜人会展
4	かめを造る	1969年	90.9×72.7	油彩・キャンバス	第6回杜人会展
5	炎の土器	1970年	90.9×65.2	油彩・キャンバス	第7回杜人会展
6	幽明	1973年	162.1×130.3	油彩・キャンバス	第10回杜人会展
7	シーサのある家	1975年	116.7×116.7	油彩・キャンバス	第1回井上慎個展
8	悠	1983年	130.3×162.1	油彩・キャンバス	第20周年記念杜人会展
9	4500年の回帰	1998年	130.3×162.1	油彩・キャンバス	第35回杜人会展
10	ガウディ賛 (森の聖堂)	1999年	162.1×162.1	油彩・キャンバス	第36回杜人会展
11	夜のカテドラル	2000年	162.1×130.3	油彩・キャンバス	第37回杜人会展
12	冬のドナウ	2000年	80.3×116.7	油彩・キャンバス	

●上松一条個展出品目録

1	有心以無作、無心以有作。(自語)	2000年	150.0×150.0 (5×5額)		独立書人団展 (2000年) 出品
2	雙圓大我、起如々於一居。(性靈集)	2000年	240.0×140.0 (2×8額)		
3	心到 (朱子語)	2000年	70.0×140.0 (全紙額)		
4	露地一桜 (自語)	2000年	140.0×140.0 (2曲屏風仕立)		
5	無畏 (禅語)	2000年	70.0×140.0 (全紙額)		
6	閑林獨坐草堂晚、三寶之聲聞一鳥、一鳥有聲人有心、聲心雲水俱了々。(空海詩)	2000年	140.0×42.0		(6曲屏風仕立)
7	蟬蛻 (史記)	2000年	140.0×70.0 (全紙額)		

●内田千代子個展出品目録

1	relation-r (left)	1985-86年	acrlc on canvas		第16回日本国際美術展
2	relation-r (right)	1985-86年	acrlc on canvas		第60回国展
3	minus relation n-d	1991-92年	acrlin on canvas		第66回国展
4	relation-i	1934-94年	acrlc on canvas		第68回国展
5	Harvard (relation-5)	1996-97年	mixed media,acrlc on board		第71回国展
6	relation-Ji	1999年	mixed media,acrlc on board		第28回現代日本美術展
7	relation-Cc	1998年	mixed media,acrlc on board		第72回国展
8	relation-Kk.html	1999年	mixed media,acrlc on board		第74回国展
9	relation-C	1998年	mixed media,acrlc on board		第69回国展
10	relation-F	1996年	mixed media,acrlc on board		第70回国展
11	relation-Bb	1997年	mixed media,acrlc on board		'98ABC美術コンクール

●古茂田杏子個展出品目録

1	私の人形	1993年	6.3×7.7	エッチング・紙	
2	私の人形	1993年	9.7×8.8	エッチング・紙	
3	富士山	1993年	14.6×10.7	エッチング・アクアチント・紙	
4	肩たたき	1993年	19.6×9.8	エッチング・紙	
5	風	1993年	19.4×9.7	エッチング・紙	
6	かくれんぼ	1993年	19.7×29.3	エッチング・アクアチント・紙	
7	稽古場	1995年	14.7×11.8	エッチング・アクアチント・紙	

8	見ざる言わざる	1995年	19.5×29.0	エッチング・アクアチント・シュガーチント・紙
9	旅役者	1996年	35.8×29.3	エッチング・アクアチント・紙
10	祭りのあと	1996年	15.8×19.8	エッチング・アクアチント・紙
11	しだれ桜	1996年	19.7×9.7	エッチング・アクアチント・紙
12	人形つかい	1996年	19.7×19.8	エッチング・アクアチント・紙
13	水芸	1996年	19.6×15.6	エッチング・アクアチント・紙
14	股火鉢	1996年	19.5×15.5	エッチング・アクアチント・紙
15	籠脱	1996年	9.6×19.5	エッチング・アクアチント・紙
16	又、やられた	1998年	23.3×36.1	エッチング・アクアチント・紙
17	母の外出	1998年	20.5×13.5	エッチング・アクアチント・紙
18	刺しつ刺されつ	1998年	25.6×4.0	エッチング・アクアチント・紙
19	母の仕事（綱渡り）	1998年	24.0×18.2	エッチング・アクアチント・紙
20	空中ショー	1999年	19.5×9.7	エッチング・アクアチント・紙
21	自画像を描く私	2000年	18.0×23.7	エッチング・アクアチント・紙

●古茂田美津子個展出品目録

1	庭の木	1999年9月	24.0×33.0	サインペン・紙（右手）
2	庭の木	1999年9月	24.0×33.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
3	ゆりの花	2000年10月19日	33.0×24.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
4	枯れたあじさい	1999年11月3日	25.0×33.0	ダーマトグラフ・紙（右手）
5	百合の花	1999年11月	35.4×24.7	ダーマトグラフ・紙（黒）（左手）
6	これからのすけ	1999年11月	37.9×26.7	ダーマトグラフ・紙（黒）（左手）
7	これのすけ	1999年11月	37.9×26.7	鉛筆・紙（黄）（左手）
8	「これのすけ」と子供	1999年12月	24.0×33.0	ダーマトグラフ（左手）
9	デルフィニューム・ミモザ・じんちょうげ	2000年3月16日	25.0×17.0	ダーマトグラフ・紙（右手）
10	えつ	2000年3月19日	17.2×25.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
11	病院にて・朝子と杏子	2000年5月	38.8×45.0	サインペン・紙（右手）
12	杏子と朝子が肩を組む	2000年5月	25.0×17.2	ダーマトグラフ・紙（左手）
13	ちよみ・ちえみ	2000年5月	25.0×17.2	ダーマトグラフ・紙（左手）
14	どん	2000年6月	17.2×25.0	ダーマトグラフ・紙（右手）
15	花瓶と花	2000年6月	45.0×38.8	ダーマトグラフ・紙（左手）
16	これでごめん	2000年7月	35.5×25.0	鉛筆・紙（右手）
17	聴音器を首からかける服部先生	2000年8月	40.5×32.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
18	鼻に管（経管栄養）を通した自画像	2000年9月24日	40.5×32.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
19	かごの中の木の実	2000年9月	26.6×37.9	ダーマトグラフ・紙（左手）
20	八幡様のおまつり	2000年9月15日	38.9×45.5	ダーマトグラフ・紙（左手）
21	花（ケイトウ）	2000年9月	32.0×40.5	水彩・紙（左手）
22	アトリエの風景	2000年10月	25.0×35.5	ダーマトグラフ・紙（黒）（左手）
23	コスモスと小花	2000年11月	40.5×32.0	ダーマトグラフ・紙（左手）
24	手鏡の自画像	2000年11月	37.8×26.6	サインペン・紙（右手と左手）
25	ランの花	2000年11月27日	32.0×40.5	水彩・サインペン（左手）
26	ネコ	2000年12月5日	32.0×40.5	水彩・ダーマトグラフ・紙（左手）

27	ねこ	2000年12月	24.1×33.0	水彩・紙 (左手)
28	ガード下	1974年	44.7×52.0	油彩・キャンバス 現代画廊個展 (1974年)
29	アルバム	1993年	130.0×194.0	油彩・キャンバス 第57回新制作協会展

1999～2000年制作の作品タイトルと素材データは、長女・杏子氏による。

●柴田敏雄個展出品目録

1	新潟県北魚沼郡湯之谷村	1989年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
2	宮崎県西都市	1990年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
3	宮崎県東臼杵郡椎葉村	1990年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
4	福島県相馬郡鹿島町	1990年	114.3×91.4	ゼラチン・シルバー・プリント
5	東京都西多摩郡檜原村	1994年	114.3×91.4	ゼラチン・シルバー・プリント
6	群馬県北群馬郡小野上村	1994年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
7	神奈川県愛甲郡清川村	1996年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
8	静岡県榛原郡本川根町	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
9	グランド・クーリー・ダム、ドゥグラス・カウンティ、ワシントン (#1719)	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
10	グランド・クーリー・ダム、ドゥグラス・カウンティ、ワシントン (#1875)	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
11	グランド・クーリー・ダム、ドゥグラス・カウンティ、ワシントン (#1878)	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント 鎌倉画廊蔵
12	パーレット・ダム、マリコバ郡、アリゾナ (#2145)	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
13	キングマン、モーハブ郡、アリゾナ (#2154)	1997年	91.4×114.3	ゼラチン・シルバー・プリント
14	クーリッジ・ダム、サンカルロス、アリゾナ (#2193)	1997年	114.3×91.4	ゼラチン・シルバー・プリント 鎌倉画廊蔵

●田淵観齋個展出品目録

1	送元二使安西 陽関 渭城朝雨雨 輕塵 客舍青々柳色新 勸君更尽一杯酒 西出陽関無故人 (王維詩)	2000年	45.0×140.0	屏風
2	養神和氣	2000年	128.0×63.0	額
3	無累即神仙	1999年	70.0×138.0	額
4	歳寒操	2001年	135.0×50.0	額
5	柿 柿の美のうらやましさは／じつにみごとに熟して落ちる／わたくしたちはさういかない／未熟なままで熟してゐる (浅野晃詩)	2000年	36.0×147.0	額
6	長崎 夕べは来た／アンゼラスの鐘が鳴りわたる／けれど長崎の人たちがみな／八月九日を思ひ出すわけではない 爆風に吹きちぎられた聖者の首は／無傷のまま残つてゐる／なんと悲しい顔を／彼はわたくしに見せるのか (浅野晃詩)	2000年	30.0×130.0	額
7	柳 こんなところに／柳が一本／枯れずに生きてゐることを／ふしぎにおもふ／北海道は胆振のくに／はてしない勇払の曠野の 沼の端の寒駅の／駅前四つ辻だ (浅野晃詩)	1998年	85.0×70.0	額
8	保暹守	1994年		扇
9	早発白帝城 朝辞白帝彩雲間／千里江陵一日環／兩岸猿声啼不在／輕舟已過萬思山／維多利亞号船上より (李白詩)	1996年	30.0×130.0	額

●長はるこ個展出品目録

1 B-cushion#14 (ローズ)	2000年	200.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント モダンアート明日への展望:俊英作家賞 (埼玉県立近代美術館)
2 B-cushion#20 (紫)	2000年	200.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 第11回吉原治良賞美術コンクール展 (大阪府立現代美術センター)
3 B-cushion#1 (オレンジ)	2000年	110.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 第27回現代日本美術展:北海道立帯広美術館賞 (東京都美術館/京都市美術館) (縮小版)
4 B-cushion#2 (オレンジ)	2000年	110.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 50周年記念モダンアート展:新人賞/新日本造形賞 (東京都美術館)
5 B-cushion#5 (赤)	2000年	110.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 第3回アート公募1999:ギャラリー企画賞 (新木場SOKOギャラリー)
6 B-cushion#6 (オリーブ)	2000年	110.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 天理ビエンナーレ第10回特別展 (賞候補)
7 B-cushion#9 (オレンジ)	2000年	110.0×150.0	ネパール紙にNECOプリント 第13回現代版画コンクール展 (大阪府立現代美術センター) <縮小版>
8 B-cushion#15 (緑)	2000年	100.0×130.0	ネパール紙にNECOプリント 銀座養清堂個展
9 B-cushion#16 (青)	2000年	100.0×130.0	ネパール紙にNECOプリント 銀座養清堂個展

●中井幸一個展出品目録

1 将軍騎馬像	1954年	116.7×90.9	油彩・キャンバス 資生堂画廊個展
2 バラード・オン・ステージ	1999年	100.0×218.4 (40P×3連)	シルクスクリーン・アクリル・キャンバス 第49回モダンアート展
3 ターゲット	1999年	100.0×218.4 (40P×3連)	シルクスクリーン・アクリル・キャンバス
4 エマヌエレ2世通り	2000年	100.0×218.4 (40P×3連)	シルクスクリーン・アクリル・キャンバス 第50回モダンアート展
5 遠い国からのメッセージ	2000年	100.0×384.0 (40P5連/作品間間隔各5.0を含む)	シルクスクリーン・アクリル・キャンバス
6 キャロルの夕べ	2000年	310.0×539.6 (40P9点組/作品間間隔各5.0を含む)	シルクスクリーン・アクリル・キャンバス

●西大記個展出品目録

1 緊那羅 (復活)	1989年	130.3×162.1	アクリル・キャンバス 第43回二紀展
2 かの日は灰よりよみがえり	1995年	181.8×227.3	アクリル・キャンバス 第50回二紀展
3 昏迷	1997年	181.8×227.3	アクリル・キャンバス 第51回二紀展
4 閉ざされた入口	2000年	130.3×162.1	アクリル・キャンバス
5 埋没 (我と共に老いよ…)	2000年	181.8×227.3	アクリル・キャンバス 第54回二紀展
6 パンとブドウ酒	1998年	53.0×33.3×3連	油彩・テンペラ・キャンバス 個展(ギャラリームサシ)
7 晩秋	1998年	31.8×40.9	テンペラ・パネル
8 甲斐路	1998年	22.0×27.3	テンペラ・パネル
9 祈りのマリア (Q.メッツァイス原作)	2000年	49.5×30.7	テンペラ・パネル
10 マグダラのマリア (Q.メッツァイス原作)	2000年	47.5×29.5	テンペラ・パネル

●沼田元氣個展出品目録

<genqui numata photo exhibition/OMOKAGE OF UNCLE CAF 2001>

~かっていた場所/ぼくの伯父さんの喫茶店もしくは遺品展

★ぼくの伯父さんの空想喫茶店

- 1 写真《uncle cafe in travel 2001》（16点組み、2001年）
- 2 写真パネル《空想喫茶店「名曲喫茶・上野スーベニール」》（1995年）
- 3 管球式ハイファイステレオ&オーラルスピーカー
- 4 LPレコード（沼田元気選曲によるカフェミュージック多数）
- 5 ビニール・レザー・ソファ、イームズ・チェア（座ることを拒否しないイス-来場者に来て座ってもらう為のもの）&テーブルetc.
- 6 閲覧用:沼田元気著《ぼくの伯父さんの東京案内》（特装本/2000年/求龍堂）
- 7 《ヌマ伯父さん型抜きAIR MAIL》（葉書/2001年）&旧郵政省公認郵便配達人の黒革バッグ
- 8 《憩（PEACE）を求めて/薔薇色の人生（ラヴィアン・ローズ）もしくはいはらの道》（オブジェ/1998年）
- 9 その他

★Case.1

- 1 《ぼくの伯父さんの東京案内》（特装本とその付録<ぼくの伯父さん型抜きクッション><作家ポートフォリオ絵皿> （2000年/求龍堂）
- 2 《ぼくの伯父さんの東京案内》（普及本/2000年/求龍堂）
- 3 「カフェのハナシ」（《CAFE VU PAR...》（2000年/アスペクト）の内/作詞作曲「uncle cafe」）
- 4 カフェ・カップ写真2葉
- 5 ミニチュアカップ君コォースタア&スプン型角砂糖の為のコォースタア
- 6 紙製カップ型ソーサー
- 7 T-Shirt (I'm cafe Hunter!) 2種
- 8 東京人マッチ6種（のらくろ/チッチとサリー/ケロヨン/タムラセツチャン/カップ君のいこい）
- 9 その他

★Case.2-ヌマ伯父さんの遺品類

- 1 秋色の帽子とマフラー
- 2 毛糸ベスト
- 3 ベレー帽
- 4 オリンパスペンFT38mm/f2.8
- 5 盲人用懐中時計と腕時計
- 6 スードライター
- 7 ゆきずりのスウェーデン女性からプレゼントされた北欧彫金のペンダント
- 8 葡萄蔓の籠
- 9 ベルヴェット・バッグ
- 10 帆布バッグ-澤帆布（uncle numaのダブルネーム）
- 11 ルーベ
- 12 電卓付筆箱
- 13 幼児用万年ペン（ラミー社）
- 14 「DICTIONNAIRE PRATIQUE FRANC AIS-JAPONAIS」,
- 15 自転車柄ネクタイ
- 16 くるみのループタイ
- 17 AIR FRANCE折り畳み傘
- 18 ミニアドレス帖
- 19 憩パッチ（七宝焼）
- 20 喫茶店憩マッチ
- 21 ハート付きブタ型貯金箱

-
- 22 肌身離さなかった芸術のお守り3種
 - 23 ハート印の避妊具
 - 24 ミニチュアけいたいでんわ
 - 25 キャラメル
 - 26 スードライター
 - 27 たばこをすうヌマ伯父さん人形
 - 28 沼田元氣名刺
 - 29 沼田元氣のマネージャー営業用沼田元氣名刺
 - 30 その他

★Case.3

- 1 《憩単語帖》
- 2 《憩写真帖マイクロミニ》（たて&よこ版）
- 3 憩写真帖全12巻（青林堂）
- 4 月刊ガロ（特集<沼田元氣の宇宙>）
- 5 <朗カメラ>（《月刊ガロ》連載）1カ月16p3年分ファイル（鳩目止）
- 6 沼田元氣《キテイちゃんの夢の散歩》（サンリオ）
- 7 《えろもあ第1集》（ミリオン出版）
- 8 《peace of girl's morning》（ミリオン出版）
- 9 《peace of girl's twilight》（ミリオン出版）
- 10 《水族館カード》（レッド・ボックス&ブルー・ボックス）
- 11 《1円玉憩バッチ》
- 12 ルーベ
- 13 ミニテーブル・ミニチェアー・ミニコーヒーカップセット
- 14 豆本（フォト屏風）
- 15 《個展案内カード-カフェ水族館 in デイモンシュ（1997年）》（4枚）
- 16 《個展案内カード-世界一小さなマッチ箱に入る写真展 in デイモンシュ（1999年）》（2枚）
- 17 《個展案内カード-phpto match box exhibition（2000年）》（3枚）
- 18 《目黒区美術館2001年個展案内カード》（4枚）
- 19 フリーペーパー「ドロップアウト」
- 20 沼田元氣花名刺（木版手刷、京都の舞子さん用）
- 21 その他

★Case.4

- 1 《ジェリイフィッシュカフェ》（クラゲ100態による水族館パネル）（1993年）
- 2 《水族館カード》（レッド・ボックス&ブルー・ボックス/各16点）
- 3 《ICOI PHOTO GRAPH TOKYO SOUVENIR》（20点）

★Case.5

- 1 cafe trading card 1999~2000（全40点）
- 2 《マッチのお城-カップ君の冒険マッチ》
- 3 カフェ・デモンシュ（鎌倉）1週間日替わりマッチ（全7点）

全ケース内に《THIS IS ART》（裏面はTHIS NOT ART）のロゴマーク入り壁紙（one love one art projectより）（1997年）

●平野正樹個展出品目録

『黒いゾド-モンゴル』

- 「死体シリーズno.M-01」(ドンドゴビ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-02」(中央県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-03」(ドンドゴビ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-04」(ウブルハンガイ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-05」(ウブルハンガイ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-06」(ドンドゴビ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-07」(中央県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-08」(ドンドゴビ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-09」(ウブルハンガイ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-10」(ドンドゴビ県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-11」(中央県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-12」(中央県) 2000.5
- 「死体シリーズno.M-13」(ドンドゴビ県) 2000.5

『Windows-東ティモール』

- 「窓シリーズ no.W-01」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-02」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-03」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-04」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-05」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-06」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-07」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-08」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-09」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-10」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-11」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-12」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-13」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-14」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-15」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-16」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-17」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-18」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-19」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-20」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-21」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-22」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-23」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-24」(デイリ) 2000.8～9
- 「窓シリーズ no.W-25」(デイリ) 2000.8～9

- 「窓シリーズ no.W-26」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-27」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-28」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-29」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-30」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-31」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-32」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-33」(デイリ) 2000.8~9
「窓シリーズ no.W-34」(デイリ) 2000.8~9

『キューバ人・アメリカ車シリーズ』

- 「アメリカ車シリーズ no.C-01」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-02」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-03」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-04」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-05」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-08」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-09」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-10」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-11」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-12」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-13」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-14」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-16」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-17」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-19」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-20」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-21」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-22」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-23」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-24」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-25」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-26」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-27」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-29」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-30」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-31」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-32」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-33」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-34」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-35」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-36」(ハバナ) 1995

-
- 「アメリカ車シリーズ no.C-37」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-38」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-39」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-40」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-41」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-42」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-43」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-44」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-45」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-46」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-47」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-48」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-49」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-50」(ハバナ) 1993
「アメリカ車シリーズ no.C-52」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-53」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-54」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-55」(ハバナ) 1994
「アメリカ車シリーズ no.C-56」(ハバナ) 1995
「アメリカ車シリーズ no.C-57」(ハバナ) 1995

『Holes-旧ユーゴスラビア』

- 「no. H-01」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-02」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-03」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-04」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-06」(Mostar) 1997
「車のリヤ no.H-07」(Dobrinia Sarajevo) 1997
「車のボンネット no.H-08」(Dobrinia Sarajevo) 1997
「no. H-09」(Mojmiro Sarajevo) 1997
「no. H-10」(Mojmiro Sarajevo) 1996
「no. H-11 車の屋根」(Dobrinia Sarajevo) 1997
「no. H-12」(Sisak Croatia) 1996
「no. H-13」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-14」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-15 車のドア」(Dobrinia Sarajevo) 1997
「no. H-16」(Sarajevo) 1997
「no. H-17」(Mojmiro Sarajevo) 1997
「no. H-19」(Mojmiro Sarajevo) 1996
「no. H-20 デパート」(Mostar) 1997
「no. H-21」(Mojmiro Sarajevo) 1997
「no. H-24」(Dobrinia Sarajevo) 1996

「no. H-25」(Sarajevo) 1997
「no. H-26」(Sarajevo) 1997
「no. H-28」(Mojmiro Sarajevo) 1996
「no. H-29」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-33」(Dobrinia Sarajevo) 1997
「機関車 no. H-35」(Sisak Croatia) 1996
「no. H-36」(Sisak Croatia) 1996
「no. H-37」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-39」(Mojmiro Sarajevo) 1997
「ゴミ箱 no. H-41」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-42」(Sarajevo) 1996
「no. H-44」(Sarajevo) 1996
「ホテル・ボスニアの前 no. H-45」(Sarajevo) 1996
「no. H-47」(Dobrinia Sarajevo) 1996
「no. H-50」(Dobrinia) 1996
「no. H-56」(Sarajevo) 1996

『ベリカン-メキシコ』

「ベリカン・シリーズ no.P-01」(メキシコ) 1998
「ベリカン・シリーズ no.P-02」(メキシコ) 1998
「ベリカン・シリーズ no.P-03」(メキシコ) 1998
「ベリカン・シリーズ no.P-05」(メキシコ) 1998
「ベリカン・シリーズ no.P-07」(メキシコ) 1998

『Bunkers-アルバニア』

「トーチカ・シリーズ no.B-01」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-02」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-03」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-04」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-05」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-06」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-07」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-08」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-09」(ティラナ) 1999.4
「トーチカ・シリーズ no.B-10」(ティラナ) 1999.4

『諫早干潟-長崎県・有明海』

「死貝シリーズ-no.I-01」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-02」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-03」(森山干潟) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-04」(森山干潟) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-05」(本明川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-06」(森山干潟) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-07」(長田川河口) 1999.1

- 「死貝シリーズ-no.I-08」(小野島干潟) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-09」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-10」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-11」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-12」(長田川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-13」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-14」(森山町海) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-15」(森山町海岸) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-16」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-17」(本明川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-18」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-19」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-20」(小野島干潟) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-21」(森山町海岸) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-22」(森山町海岸) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-23」(小江川河口) 1998.10
「死貝シリーズ-no.I-24」(長田川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-25」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-26」(小江川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-27」(長田川河口) 1999.1
「死貝シリーズ-no.I-28」(森山町海岸) 1998.10
「諫早パノラマシリーズno.I-34」(本明川河口) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-35」(小江川河口) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-36」(小江川河口) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-37」(小野島干潟) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-38」(長田川河口) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-39」(森山町海岸) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-40」(小江川河口) 1999.8
「諫早パノラマシリーズno.I-41」(森山町海岸) 1999.8
「死貝シリーズno.I-31」(長田川河口) 1999.1
「死貝シリーズno.I-32 日の丸」(小野島干潟) 1998.10

●藤掛正邦個展出品目録

グラフィック・アート:ビルマンの進化論

1	クライスラー・ビルマン	1983年	B1 (103.0×73.0)	スチロール版・インク・厚紙・真鍮ハトメ
2	エッフェルマン	1983年	B1 (103.0×73.0)	スチロール版・インク・厚紙・真鍮ハトメ
3	アメリカン・カー	1983年	B1 (103.0×73.0)	スチロール版・インク・厚紙・真鍮ハトメ
4	JAPAN IS No.1	1990年	B1 (103.0×73.0)	シルクスクリーン・ケント紙
5	ニューヨーク・ビデオエキスポ	1985年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・アート紙
6	街を元気に。人を元気に。	2000年	300.0×500.0	KV DYESUBプリント
7	君は空を飛べない。	1984年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・アート紙
8	みやぎのひとめぼれ	1991年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・アート紙

9	渋谷ストリート・フェスティバル	1993年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・ミューズコットン紙
10	世界公園フェスティバル	1995年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・アート紙
11	箱根駅伝	1999年	B1 (103.0×73.0)	オフセット印刷・アート紙
	メタル・オブジェ:少年の日の夢			
1	AMMONITE TRAIN	1988年	30.0×50.0×h55.0	真鍮・半田・リキテックス
2	OCEANLINER	1989年	60.0×50.0×h60.0	真鍮・半田・リキテックス・サビカラー
3	OCEANIC NOISE	1989年	20.0×40.0×h50.0	真鍮・半田・リキテックス・サビカラー
4	JOURNEY	1992年	20.0×80.0×h30.0	真鍮・半田・リキテックス・サビカラー
5	少年の日の夢-メトロポリス-	1985年		真鍮・半田・リキテックス
	I LOVE MANHATTAN/SKYCRAPER/CINEMA HOUSE/BUILD-MAN etc.			
6	少年の日の夢-乗り物-	1985年	真鍮・半田・リキテックス	
	AIRPLANE/JETPLAN/MUSIC PLANE/FUTURE CAR/PETIT TRAIN/VICTORIA TRAIN/RETRO CAR/NAUTILUS etc.			
	ワイアー・アート:レーチェルの部屋			
1	RACHEL (レーチェル) -アンドロイドは夢を見るか-	1997年	30.0×40.0×h160.0	真鍮線・半田
2	RETERN ALIVE ALONE スパイダーウーマン	1993年	40.0×90.0×h180.0	真鍮線・半田
3	PRAYER祈り	1991年	30.0×30.0×h140.0	真鍮線・半田
4	LOOKING FOR LOVE ALONEはてしなく愛を探して	1990年	25.0×30.0×h120.0	真鍮・半田
5	ステンドグラスガール	1997年	25.0×35.0×h125.0	真鍮線・半田
6	マリア	2000年	35.0×50.0×h110.0	真鍮線・半田
7	飛ぶ男	1993年	26.0×120.0×h80.0	真鍮線・半田・額
8	TRAP OF LOVE蜘蛛の糸	1993年	13.0×70.0×h160.0	真鍮線・半田・額
9	LOVE OF JFK哀しい罨	1991年	14.0×70.0×h122.0	真鍮線・半田・額
10	愛のエチュード	1998年	18.0×40.0×h60.0	真鍮線・半田・ボンエナメル・額
11	NIGHT RIVER	1998年	25.0×60.0×h60.0	真鍮線・半田・額
12	INDIGESTION消化不良	1990年	8.0×90.0×h60.0	真鍮 半田
13	写楽の宮城野	1994年	40.0×51.0×h77.0	真鍮線・半田
14	ゴッホの自画像	1995年	35.0×60.0×h70.0	ビニール・アルミ線

(立体のサイズ表記は、タテ×ヨコ×タカサ (h) です)

●宮廻正明個展出品目録

1	風の囁き	1992年	212.0×170.0	紙本着彩	第77回院展 セレネ美術館蔵
2	天写田	1993年	174.0×219.0	紙本着彩	第78回院展 セレネ美術館蔵
3	後曳橋	1994年	117.0×91.0	紙本着彩	セレネ美術館蔵
4	三拍子	1995年	220.0×174.0	紙本着彩	第80回院展 セレネ美術館蔵
5	澄泥双生	1995年	117.0×91.0	紙本着彩	セレネ美術館蔵
6	0℃	1996年	180.0×360.0	紙本着彩	第81回院展 個人蔵
7	三希月廻	1996年	113.0×146.0	紙本着彩	セレネ美術館蔵
8	碧と旋律	1998年	115.0×115.0	紙本着彩	第53回春の院展 作家蔵
9	水花火	1998年	160.0×360.0 (屏風装)	紙本着彩	第83回院展 今井美術館蔵
10	交響の詩	1999年	108.0×108.0	紙本着彩	第54回春の院展 今井美術館蔵
11	日溜壳	2000年	108.0×108.0	紙本着彩	第55回春の院展 今井美術館蔵

所蔵作品展 絵面観測方『えをかくやりかた、えをみるてだて』

会期：2001（平成13）年3月3日～4月8日（32日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

本展は、当館の所蔵作品により、大きく4つのパートで構成、私たちが通常「絵画」だと認識しているものは、いったいどんなものなのか、それを見るという行為はどんなことなのか、ということについて考察することを目的として開催した。

関連催事：レクチャー《絵具の現在と未来》講師：植本誠一郎（株式会社工業絵画材料研究室長）

ギャラリートーク《絵画の快樂》

同時開催：ワークショップ I 3つの短編フィルムショー

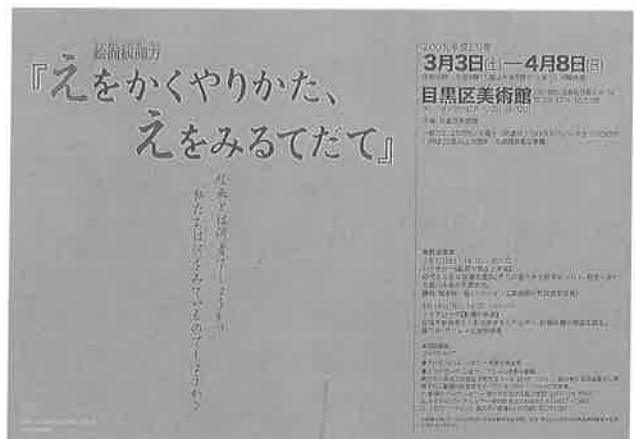
II フレームのある劇場—3つのピープ・ショウ



会場風景



会場風景



B3ポスター

出品リスト

作家名	作品名	制作年	素材・技法等	寸法	備考
<p>・展示室別・展示順に展示物を記載した。 ・作品は特記した例外をのぞき、すべて目黒区美術館の所蔵品。 ・資料としての展示物は、『画材の引き出し博物館』はじめ目黒区美術館の所蔵品に一部寄託品を含む。</p>					
○二階階段前ロビー～展示室A					
0.プレリュード					
展覧会への導入のためのディスプレイ（階段前ロビー展示台上）					
中川紀元	女と猫	1920年	油彩・キャンバス	143.8×59.2	
平賀亀祐	牡蛎のある静物	1928年	油彩・板	46.0×55.0	
佐分 真	男の肖像	1930年頃	油彩・キャンバス	46.0×38.0	
木内 克	裸婦	1927年	油彩・厚紙	50.0×66.0	
梅原龍三郎	パリ市庁	1908年	油彩・キャンバス	35.0×43.1	

(展示室A)

資料：大型イーゼル（岩山為三使用）

○展示室A

1.えをかくやりかたーものが絵とよばれるまで

目黒区美術館制作の『画材の引き出し博物館』からの抜粋に、その他絵画材料等を加え、さらに各描画材料ごとに具体的な作品を展示した。

◇墨

谷 文晁 (1763-1840)	梅に鳥	制作年不詳	紙本墨彩／軸装	103.0×33.5	
菊池容斎 (1788-1878)	夜 鯉の図	制作年不詳	紙本着彩／軸装	106.0×41.6	
手島右卿 (1901-1987)	陸	制作年不詳	書／額装	64.0×53.0	

資料：鈴鹿墨色見本

各種の墨色をドーサ引き有無など紙の状態と組み合わせて見本化

◇日本画（顔料～岩絵具など）

池上秀畝 (1874-1944)	作品名不詳	制作年不詳	絹本彩色／屏風		個人蔵
藤田嗣治	鶴	1918年頃	金地着彩・紙	20.0×17.0	

資料：天然顔料 [現代の天然岩絵具-日本画] *

藍銅鉱、孔雀石、辰砂とそれぞれを原料とする粒子の大きさにより色調の異なる岩絵具を中心とする天然顔料・岩絵具。ほかに蛎殻と胡粉、蛭石、雲母、水晶など。

資料：天然顔料 [天平の色-日本画] *

『法隆寺資料帳』『正倉院文書』に記載の色名をもとに天平時代に用いられていたと推測される絵具とその原材料。

資料：人工顔料 [日本画] *

ケイ酸・鉛ガラスに各種の金属酸化物等を混合して焼成し、砕いて粒子化した人工の岩絵具。現在では非常に多くの色数が実現されている。

資料：絵具 [日本画] *

画家が手で膠によって溶く伝統的な岩絵具以外の日本画用絵具各種。鉄鉢（てっぱち）、顔彩、棒絵具、チューブ入りなど。

◇洋画（顔料～絵具）

成井 弘	静物	1951年	油彩・キャンバス	46.0×53.2	
斎藤豊作	羊飼いの	1906年～12年	油彩・キャンバス	45.6×38.0	

資料：天然顔料 [西洋画] *

ラピスラズリを原料とするウルトラマリン、緑色のテールベルトなど、15世紀初頭イタリアのチェンニーノ・チェンニーニによる『絵画術の書』の色名記載をもとに、現在の材料でつくった当時のフレスコ画やテンペラ画で用いられた天然顔料。

資料：人工顔料 [西洋画] *

錬金術にはじまる化学の進歩が生んだ西洋画に用いられる人工の顔料各種。現在の油絵具はほとんどが人工的に合成された顔料を原材料としている。

資料：顔料から絵具へ [西洋画] *

赤い合成顔料・アリザリンレーキを例に、練り剤（展色剤）や添加される助剤の違いによって、同じ顔料からつくられたパステル・透明水彩・不透明水彩・オイルパステル・色鉛筆。

資料：油絵具の昔と今 [西洋画] *

15世紀後半に技法が確立された油絵具の過去と現在の姿を、顔料（天然と合成）、チューブなどの容器をはじめとする違いで比較対照。

藍銅鉱、孔雀石、辰砂とそれぞれを原料とする粒子の大きさにより色調の異なる岩絵具を中心とする天然顔料・岩絵具。ほかに蛎殻と胡粉、蛭石、雲母、水晶など。

◇その他の画材 1

資料：筆の原料*

各種の筆の原材料となっているさまざまな動物の毛など

資料：筆 [日本画] *

日本画に用いられる各種の筆、その構造と原料

資料：筆 [西洋画] *

西洋画に用いられる各種の筆、その構造と原料

作家名	作品名	制作年	素材・技法等	寸法	備考
<p>資料：刷毛〔日本画〕*</p> <p>日本画に用いられる各種の刷毛とその構造</p> <p>資料：刷毛〔西洋画〕*</p> <p>西洋画に用いられる各種の刷毛、その構造と原料</p>					
◇インターリュード					
画面裏面（鶴岡義男「海辺」）					
◇その他の画材 2					
資料：画用液*					
油彩に用いられる乾性油、揮発油、ワニス、乾燥促進液など、各種の画用液とその原料。					
資料：にかわ*					
日本画に用いられる各種の膠（にかわ）とその原料、流通用の加工品など。					
資料：絵具〔合成樹脂絵具〕*					
二十世紀なかばに登場して新しい表現の可能性をひらいた、アクリル系をはじめとする合成樹脂を利用した絵具と原材料の樹脂。					
資料：色鉛筆*					
各種の顔料を体質顔料（タルク）・粘土と混合し、鉛筆状にした色鉛筆。水性・油性・パステルタイプなど表現にあわせたさまざまなタイプ。					
資料：クレヨン・オイルパステル*					
各種のクレヨン。元来はパステル、コンテ、木炭など棒状の彩色材料の総称だった「クレヨン」は、現在では顔料に油脂・各種の蠟（蜜蝋、パラフィン、合成ワックスなど）を混合し練り固めたものの名称。					
◇パステル					
武内鶴之助	ロンドン郊外	1908年～12年	パステル・紙	15.3×21.5	
武内鶴之助	稲妻	制作年不詳	パステル・紙	28.0×38.5	
矢崎千代二	マルセーユ	1925年	パステル・紙	72.8×53.2	
資料：パステル*					
17世紀中盤に考案されたパステルは顔料と炭酸カルシウムなどの体質顔料に少量のトララガントゴムを加えて練り固めたもの。ハードタイプ、ソフトタイプなど各種。					
◇水彩					
野見山暁治	パリの郊外	1953年	インク・グアッシュ・紙	37.5×51.5	
澤部清五郎	水彩小品 3点	1913年頃	水彩・紙（イタリア・スペインでの風景写生）		
資料：絵具〔水彩画〕*					
各種の水彩絵具と塗り見本。水彩絵具は顔料にアラビアゴム、にかわ、グリセリンなどを加えたもので、成分比率の違いにより不透明水彩（グアッシュ）と透明水彩に大別される。					
資料：水彩画用紙*					
水彩絵具での制作に適したかたちに開発された画用紙、ファブリアーノやアルシュ、ワットマンなど各種。					
◇鉛筆					
木下 晋	シロ 1	1988年	鉛筆・ケント紙	50.0×99.8	
資料：鉛筆*					
9 HからEEまでの鉛筆とその階調、コンテ、ダーマトグラフなどその他の鉛筆状の描画材料。					
◇支持体					
伊原宇三郎	アヴィニオンの廃跡	1925年～29年	油彩・キャンバス	54.2×65.0	
坂本繁二郎	老婆習作	1923年	油彩・板	41.1×32.2	
	木炭デッサン裏面（澤部清五郎・霜鳥正三郎の習作）				
資料：支持体〔油彩画〕*					
各種キャンバスと原材料となる亜麻糸、木枠の素材、水性・エマルジョン・油性など各種の下地見本。					
資料：油彩用各種ボード・板類 板、多層構造の紙製ボードなど					
資料：未使用キャンバス（地塗り済み）					
資料：キャンバス用木枠各種					
◇油彩の周辺					
資料：イーゼル（伊原宇三郎旧蔵）					
資料：アトリエキャビネット（伊原宇三郎旧蔵）					
資料：額縁各種					
資料：初心者用絵具箱一式（2001年2月購入）					
資料：伊原宇三郎旧蔵画材類（絵具・筆・パレット・パステル・装飾小額・オイルほか）					
資料：パレット（中村義夫旧蔵）					
■エピソード1：実用品としての肖像画					
作者不詳	千葉胤次肖像				目黒区蔵
作者不詳	生田繁肖像				目黒区蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法等	寸法	備考
2.「絵画」について－何が描かれているのか					
描写の対象をもつ絵画について、さまざまなレベルの「絵画」を検証。					
○静物の射程					
赤穴 宏	静物・スイカ	1991年	油彩・キャンバス	112.1×162.1	
国松桂溪	静物	1920年～24年頃	油彩・キャンバスボード	19.0×23.9	
田中佐一郎	静物	1932年～33年	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
○風景の射程					
太田喜二郎	風景	1908年～13年	油彩・キャンバス	65.2×50.1	
鹿子木孟郎	アブニューオッシュュ	1916年～17年	油彩・キャンバス	50.1×61.0	
栗原忠二	ロンドン国会議事堂	1926年頃	油彩・キャンバス	81.3×101.5	
横手貞美	街路	1921年～31年	油彩・キャンバス	52.9×72.7	
児島善三郎	丘の見える村	1925年～28年	油彩・キャンバス	60.3×72.5	
猪熊弦一郎	ノートル・ダム	1938年～39年	油彩・キャンバス	81.2×54.3	
近藤吾朗	マルセーユの心象	1960年	油彩・キャンバス	91.0×73.4	
菅井 汲	風景	1953年	油彩・キャンバス	45.6×60.7	
■エピソード2：人と風景の事件					
篠原有司男	コニーアイランド遊園地	1974年	アクリル・キャンバス	191.0×241.0	
名井萬亀	レジェ風	1950年	油彩・キャンバス	65.8×90.7	
○人体の射程					
三輪四郎	裸婦習作	1923年～24年	油彩・キャンバス	73.5×60.2	
石橋和訓	裸婦習作	1905年頃	油彩・キャンバス	91.0×50.5	
澤部清五郎	裸婦習作	1912年	木炭・紙	62.2×47.4	*次の霜鳥作品と同日、同じNYのアカデミーで描かれたもの
霜鳥正三郎	裸婦習作	1912年	木炭・紙	62.2×48.2	
清水登之	裸婦	1914年	木炭・紙	62.3×48.0	
国吉康雄	人物素描（裸体1）	1912年	木炭・紙	62.3×47.6	
山口 薫	椅子にもたれる裸婦	1930年～31年	油彩・キャンバス	72.8×60.7	
鶴岡義雄	海辺	1949年	油彩・キャンバス	193.0×131.0	
池田満寿夫	黒い女	1964年	油彩・キャンバス	80.3×65.2	
■エピソード3：物語の中のひとびと					
野田英夫	車中の少女	1932年	油彩・パーティクルボード	37.4×35.4	
坂田一男	浴室の二人の女	1928年	油彩・キャンバス	100.1×81.0	
荒井龍男	曠茫	1938年頃	油彩・キャンバス	112.0×145.5	
○展示ロビー、展示室B、展示室C					
3.問いかけ－絵についての					
絵画というシステムに関するさまざまな絵画自身による試みによって生まれた「絵画」を検証。					
○おきての外へ					
アンフォルメル・具体・パンリアル～逸脱と過剰の試み					
(展示ロビー)					
今井俊満	黒い太陽	1956年	油彩・キャンバス	60.1×92.3	
今井俊満	新緑	1958年	油彩・キャンバス	100.0×110.0	
堂本尚郎	コンポジション	1959年	油彩・キャンバス	114.3×162.2	
元永定正	作品	1961年	油彩・キャンバス	133.0×99.0	

作家名	作品名	制作年	素材・技法等	寸法	備考
田中敦子	ターゲット (Target 62T)	1962年	アクリル・塗料・板	146.0×108.0	
白髪一雄	天機星-智多星	1964年	油彩・キャンバス	134.0×274.5	
(展示室C)					
下村良之介	鳥たちの壁B	1964年	紙粘土・顔料・紙・合板	182.0×268.8	
野村 耕	集	1964年	ボード・紙型・カシュー・油彩	151.8×91.0	
星野真吾	喪中の作品 (赤)	1965年	岩絵具・箔・和紙	182.0×91.0	
不動茂弥	庚神	1966年	顔料・顔料・コンクリート・墨・和紙	182.3×130.3	
三上 誠	作品	1964年頃	木・顔料	151.6×151.3	
木村嘉子	作品Y	1963年	油彩・キャンバス	137.0×80.0	

○絵画と呼ばれる考え方

絵画による絵画についての自省～メタ絵画に向けて

(展示室B)

浅野弥衛	無題	1966年	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
浅野弥衛	無題	1967年	油彩・キャンバス	72.0×90.5	
住川忠夫	線形成 I	1974年	アクリル・キャンバス	32.0×180.0	
住川忠夫	線形成 II	1974年	アクリル・キャンバス	32.0×180.0	
住川忠夫	線形成 III	1974年	アクリル・キャンバス	32.0×180.0	
宇佐美圭司	プロフィールのこだま・積層	1976年	油彩・キャンバス	214.0×196.0	
村上友晴	無題	1980年～82年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	
村上友晴	無題	1985年～87年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	
阿部展也	作品1 WHITE SCRIPT (D)	1960年	エンコステティック・板	121.0×181.5	
阿部展也	SCRITTURA in BIANCO	1963年	エンコステティック・板	145.5×114.0	
堀 浩哉	風の声-14	1989年	アクリル・岩絵具・墨・キャンバス・和紙	227.3×546.0	
諏訪直樹	P H - 9 - 8510	1985年	アクリル・綿布 (軸装)	180.0×140.0	
諏訪直樹	P - 1 - 8306	1983年	アクリル・綿布 (軸装)	200.0×140.0	

Ⅱ. 教育普及

(1) ワークショップ 及び 展覧会関連催事

① 山田光展

ア. 講演会 「戦後美術運動と走泥社」

講師：益田芳徳（元走泥社同人・ガラス造形作家）

開催日：6月24日

参加者：108人

② 粟辻博展

ア. 講演会

展示室で体感しよう！Ⅰ「粟辻博、生活から生まれたデザイン」と題して、故粟辻博氏の夫人・粟辻早重氏がどのように粟辻デザインが生まれていたのかを話した。

講師：粟辻早重（人形作家）

開催日：8月6日

参加者：93人

イ. 講演会とワークショップ

展示室で体感しよう！Ⅱ「布の可能性」と題して、故粟辻博氏に共感した日比野克彦氏が大きな布を何枚も持参し、又、ハンカチ等を使って参加者とともに造形活動として布の可能性を探った。

講師：日比野克彦（アーティスト）

開催日：8月29日

参加者：170人



③ 美術体験・アウトリーチ

本館にて、『粟辻博展－色彩と空間のテキスタイル』を同時開催。ワークショップの活動場所を館外に移し、より多くの人達とコミュニケーションするためにアウトリーチを行った。

ア. 小学校の思い出・身体を動かして

講師：岡庭秀之（俳優・演出家）

日時／場所：8月6日（日）10:30-16:30 / 目黒区立下目黒小学校
8月27日（日）10:30-16:30 / 目黒区立田道小学校

参加者：中学生以上19人

「小学校」はほとんどの人が経験し、通過してきた日常である。かつて子供だった頃の思い出を懐かしみながら、現在の小学校を構成する機能－ビオ・トープ、校庭、階段、屋上、廊下、図書室、

誰もいない教室、体育館を舞台に“行為”を展開した。「歌を歌う」・「台本を読む」・「思い出を語る」・「人の瞳の中に自分を見る」・「大声を出す」・「誰もいない教室を覗く」など、瞬時のひらめきによるアクションで小学校という独特の空間を再発見した。真夏の小学校が、参加者のための参加者による劇場となった2日間だった。



イ. 1日ワークショップ 水の色体験と形遊び

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）

日時：8月8日（火）10:30-16:30

8月9日（水）10:30-16:30 *両日ともに内容は同じ

場所：下目黒小学校

参加者：小学1年生から中学生まで

8月8日（火）27人

8月9日（水）27人

炎天下の中、広い校庭を駆け回りながらカラフルな色の水風船をぶつけあったり、大きなブルーシートにホースで水を入れながらみんなで揺さぶり波を作ってその中を駆け回ったり、巨大な“水袋”を作って乗るなど、水の表情を観察しながら水の造形遊びを行った。小学校の真夏の空間と水の遊びの関連を楽しんだ。水の飛び散る形・揺れ動く形から重さ・温度まで、全身ずぶ濡れになって、水を体感した。

ウ. きれいな色、きれいな形一心のもようをあらわそう

日時：8月16日（水）13:30-16:30

進行：T V T ボランティアチーム *TVT=トイ・コレクション・ボランティアチーム

場所：目黒区民センター児童館

参加者：幼児4歳以上の家族・2人1組で17組34人



目黒区美術館トイ・コレクション・ボランティア・チーム企画によるワークショップで、昨年に続き、幼児とその家族のための好評なプログラム。今回は、○△□の形、赤・青・黄・桃・緑・水の色の美しい紙を使って、タングラム形式の形遊びから、平面構成へと発展させた作品を制作した。カットした色紙のピースを、喜怒哀楽などその日の気持ちをイメージしてばらまき、自分の『いいな』と思うところにピースを移動させ、白と黒の大きな台紙に構成していった。タイトルもつけられ、さまざまな世界が出来上がった。最後は、皆で美術館へ行き、粟辻展を鑑賞し、形と色の美しさに注目して楽しんだ。



エ. 積木の街—みんなで作る色と形のシンボルタワー—

日時：8月17日（木）13:30-16:30

進行：T V Tボランティアチーム *TVT=トイ・コレクション・ボランティアチーム

場所：目黒区民センター児童館

参加者：幼児4歳以上の家族・2人1組で15組30人

同じくTVTボランティアチーム企画による親子または家族の2人1組が対象のワークショップ。このコースでは、はじめに塔の写真を見せてから、積木やパズルを使って、街を3～4組の家族と一緒に共同制作。さらに街のシンボルタワーも作る。最後にそれぞれの作品についての意見と感想を述べ合った。美術館の定番、トイ・コレクションを使って形遊びを大人も子どももみんながじっくり楽しんだ。最後に、美術館で粟辻展のギャラリーツアーを行った。



オ.<遊びの広場> なかよしの形—丸・三角・四角

日時：8月19日（土）、20日（日）13:30-16:30

担当：ワークショップ・アシスタント

場所：目黒区民センター児童館

参加者数：のべ 約60人

「好きな色」「好きな形」「好きな大きさ」の○△□の色紙を数枚選び、<そのままコラージュ（貼り絵）にする><カッターで切り込みを入れながら繋げる><裏の線を利用していくつかのピースにカットする>など発展させ、カードを制作した。

カ. 目黒・建築めぐり塾 I

I - 1.住宅編《旧前田利為邸と旧柳宗悦邸—駒場界隈の邸宅散策》

目黒区の駒場公園周辺には旧前田利為邸に関連し、建築的に優れた住宅が多く存在する。

さまざまな経緯を持つ駒場公園の歴史を見なおし、旧前田利為邸である現東京都近代文学博物館と旧柳宗悦邸である日本民藝館西館—歴史的に価値のある2つの邸宅を見学、その関係を調査した。

日時：9月23日（土・祝） 10:00-17:00

ナビゲーター：永井達也（目黒21世紀設計室）

場所：旧前田利為邸—現東京都近代文学博物館、旧柳宗悦邸—日本民藝館西館、駒場公園周辺の住宅

参加者：25人

I - 2.教会編《目黒区周辺の教会散策》

目黒区内、周辺には個性的な建築意匠を持つ教会が多く散在する。カトリック目黒教会（アンセルモ教会）、聖パウロ教会、カトリック碑文谷教会（サレジオ教会）、宗派の違う3つの教会を訪問し、その歴史、建築についての学習を踏まえながら、司祭、牧師より話をうかがった。

ナビゲーター：永井達也（目黒21世紀設計室）

日時：9月30日（土） 10:00-17:00

場所：カトリック目黒教会（聖アンセルモ教会）～聖パウロ教会～カトリック碑文谷教会（サレジオ教会）

参加者：22人

④ 青木野枝展—軽やかな、鉄の森

展覧会にあわせて、会期中いろいろな角度から作家に迫るワークショップや、ダンスパフォーマンスを開催した。加えて、小学校の観賞教室の受け入れとしてギャラリーツアーも開催し、多くの人々が年齢を超えて参加した。

ア.ワークショップ「野枝とノエとnoe」

講師：青木野枝（彫刻家）

日時：12月2日（土）、3日（日） 10:30-16:30

参加者：15人

展覧会に関連させたワークショップで、より深く青木野枝に触れるコース。作品制作についての話を展示室で行った後、自分の“居たい”場所をテーマにケント紙を自由に切ってつないで制作した1日目。2日目は、飯能のアトリエ訪問し、参加者自ら鉄の溶断～溶接を体験し作品を制作する。作家の秘密に迫ることから、普段では触ることすら少なくなった鉄の作品制作まで、内容の濃い、貴重な2日間となった。

イ.ワークショップ「鉄をさがそう！」

講師：青木野枝（彫刻家）

日時：12月17日（日） 13:00-16:30

参加者：小学1生以上17人

人間にとって最もなじみのある素材、鉄についてあれこれ考えた後、磁石とポラロイドカメラを持って、作家と一緒に美術館周辺を歩き回り、“鉄”のいろいろな表情を探した。また、美術館では作家の作品をみんなで鑑賞したり、鉄の溶断～溶接を見学したりしながら作品制作の話しを聞く。このコースでは、鉄という金属

を身体で考えながら、作品に迫るワークショップとなった。



ウ.ギャラリートーク「亀と眼があった日」

作家の制作の秘密に迫る話を中心に、展示室でツアーをしながら話を楽しんだ。両日とも活発な質問が飛び交い、丁寧に答える青木氏が印象的であった。

講師：青木野枝（彫刻家）

日時：11月25日（土） 14:00-15:00 参加者 37人
 12月10日（日） 14:00-15:00 参加者 63人

エ.12月16日— sculpture & Performing Arts

開館から閉館まで、青木展を舞台に4人のダンサー、俳優による作品とのコラボレーション。

常にどこかの空間で踊り手が動いているという設定で開催。美術館全体を劇場に見たて、舞台・観客の隔てのない空間として開催、大変多くの入館者があった。

出演：熊谷乃理子、池宮中夫、岡庭秀之、佐藤昌枝

協力：nomado-s

時間：10時から6時まで

参加者：281人



⑤ フレームのある劇場— 3つのピープ・ショウ

ア. 絵画のピープ・ショウ—箱の中に広がる絵の宇宙

講師：富谷智（彫刻家）

日時：3月17日（土）、24日（土）、25日（日） 10:30-16:30

参加者：小学4年生以上25人

協力：東京都写真美術館

美術館での作品鑑賞を能動的な体験へと誘うことを目的として開催。奥行きのある世界を作るピープ・ショウをもとに、同時開催の所蔵作品展と結び付け、絵画・平面からピープ・ショウ／空間へと発展。作品から受けた印象、新たに発想したこと、作品を組み合わせるストーリーを作るなど、参加者の思いの表現が、「錯覚」「遠近方」「からくり」「光」を手段に箱の小部屋に自分の世界として展開した。絵画作品をもとに制作した空間作品は、独自の視点と創造が加わった作品となった。また、初日には、東京都写真美術館にて18世紀ヨーロッパのピープ・ショウの見学も行い、写真美術館の三橋学芸員にレクチャーをお願いした。

イ. ものけ ピープ・ショウ—命の吹き込まれたかたち

講師：村瀬尚子（イラストレーター）

日時：3月27日（火）、28日（水）、29日（木） 10:30-16:30

参加者：新小学1年生以上中学生まで30人

協力：東京都写真美術館



“いつもは見えないけど、そこにいる”をテーマに、『遠近法』を、視覚と距離から考え、箱の中に“もののけワールド”を制作した。初日には、東京都写真美術館にヨーロッパ18世紀のピープ・ショウを見学。遠くのは小さく見える—遠近法の話をして、ポラロイドカメラを使って「人がてのひらにのる」ような不思議な写真も撮った。「想像力／記憶・体験を結び付ける」から「創造力／新しいものをつくりだすへと発展」させるための「妖怪」は、擬人化・擬態・合体を、さらにピープ・ショウの構造を生かすための空間・場所の設定をグループで考え、制作した。家族・友人を交えての発表会では、ピープ・ショウの箱が開く時には驚きの喚声があがり、またフリータイムで作品を見る時には細部を熱心に見る人も多かった。

ウ. 1日7クショウ 箱の中の劇場

講師：榎本寿紀（ワクショウ・デザイナー）

日時：3月18日（日） 10:30-16:30

3月20日（火・祝）10:30-16:30 *両日ともに内容は同じ

参加者：3月18日（日） 新小学1年生から6年生まで22人

3月20日(火・祝)新小学1年生から19人

ミニチュアサイズのピープ・ショウを参加者が大切にしているおもちゃ、コレクションを持ちよって制作。子供から大人まで、それぞれの世界が出来上がった。

⑥ 2つの映画上映会

ア. ジョセフ・コーネルの日

実施日：4月7日(土) 13:00-15:00

Rose Hobert, Cotillon, The Children's Party, The Midnight Party, Gnir Rednow, Centuries of June, Aviary, Nymphlight, A Legend for Fountains, Mulberry Street, Angel以上11本。

イ. チャールズ & レイ・イームズの日

実施日：4月8日(日) 13:00-15:00

The Fiberglass Chairs, Lownge Chair, Westinghouse in ABC, Tops, Day of the Dead, Two Baroque Churches in Germany, Degas in the Metropolitan, Alfa, Exponents, Black Ship, Powers of Ten以上11本。

開催日：12月13日(水)

参加者：目黒区立碑小学校 5年生 48名

開催日：12月15日(金)

参加者：目黒区立大岡山小学校 5年生 70名

開催日：12月19日(火)

参加者：目黒区立原町小学校 4年生 57名

開催日：12月19日(火)

参加者：目黒区立月光原小学校 5年生 49名

開催日：12月20日(水)

参加者：目黒区立月光原小学校 2年生 49名

開催日：12月21日(木)

参加者：目黒区立駒場小学校 3年生 49名

開催日：12月22日(金)

参加者：目黒区立五本木小学校 6年生 56名

開催日：12月22日(金)

参加者：目黒区立下目黒小学校 2年生 43名

(2) ギャラリーツアー

ア. 『栗辻博展—色彩と空間のテキスタイル』

開催日：9月5日(火)

参加者：目黒区立田道小学校 6年生 49名

開催日：9月5日(火)

参加者：目黒区立下目黒小学校 2年生 43名

開催日：9月6日(水)

参加者：区立向原小学校 4年生 51名

開催日：9月7日(木)

参加者：目黒区立中目黒小学校 5年生 50名

開催日：9月8日(金)

参加者：目黒区立月光原小学校 6年生 50名

開催日：9月12日(火)

参加者：目黒区立五本木小学校 4年生 38名

開催日：9月14日(木)

参加者：目黒区立原町小学校 5年生 63名

開催日：9月16日(土)

参加者：目黒区立下目黒小学校 6年生 42名

開催日：9月19日(火)

参加者：目黒区立大岡山小学校 6年生 89名

イ. 『青木野枝展—軽やかな、鉄の森』

開催日：11月24日(金)

参加者：大田区立久が原小学校 4年生 99名

開催日：11月28日(火)

参加者：目黒区立向原小学校 3年生 55名

開催日：11月30日(木)

参加者：目黒区立田道小学校 5年生 54名

開催日：12月5日(火)

参加者：目黒区立向原小学校 5年生 55名

開催日：12月6日(水)

参加者：目黒区立駒場小学校 5年生 55名



ウ. 『絵面観測方 えをかくやりかた、えをみるてだて』

開催日：3月7日(水)

参加者：目黒区立不動小学校 4年生 64名

開催日：3月13日(火)

参加者：目黒区立八雲小学校 6年生 59名

Ⅲ. 入館状況

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	1日平均		
所蔵作品展 アーティストの絵手紙展	12年3月13日～ 12年4月11日	14日間 (12年度分)	2,328人 (12年度分)	166人 (12年度分)	A,B,C,L	全期間32日間 3,722人
第37回 朝日陶芸展	12年4月22日～ 12年5月28日	32日間	6,320人	198人	A,B,C,E,L,W	
-陶の標し- 山田 光展	12年6月10日～ 12年7月23日	38日間	2,177人	57人	A,B,C,E,L,W	
栗辻 博展-色彩と空間の テキスタイル	12年8月2日～ 12年9月20日	43日間	5,800人	135人	A,B,C,E,L,W	
第10回 染・清流展	12年10月9日～ 12年11月15日	32日間	2,844人	89人	A,B,C,E,L,W	
青木 野枝展 -軽やかな鉄の森-	12年11月23日～ 12年12月27日	30日間	4,904人	163人	A,B,C,E,L,W	
めぐろの子どもたち展	13年1月13日～ 13年1月28日	14日間	8,442人	603人	A,B,C,E,L,W,G	
目黒アート・マニアM2000 -14作家の個展	13年2月13日～	20日間	3,576人	179人	A,B,C,E,L,W	
所蔵作品展 絵面観測方 「えをかくやりかた、えをみるてだて」	13年3月3日～ 13年4月8日	22日間 (12年度分)	1,175人 (12年度分)	53人 (12年度分)	A,B,C,E,L,W	全期間32日間 (1,882人)
合計		245日間	37,566人	153人		

新匠工芸展	12年5月10日～ 12年5月21日	11日間	807人	73人	G	
DEJIMA2000 日蘭交流400周年記念	12年6月6日～ 12年6月18日	12日間	378人	32人	G	
昭和シェル石油現代美術展	12年8月1日～ 12年8月20日	18日間	1,754人	97人	G	
美術館協力事業 目黒区民まつり区民作品展	12年9月26日～ 12年10月1日	6日間	1,930人	322人	A,B,C,E,L,W,G	

注 A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ室、G=区民ギャラリー

IV. 作品収集

●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品（以下「作品」という）と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料（以下「補助資料」という）を、次の項目により計画的に収集する。

1. 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品。
2. 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料。
3. その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料。

収集対象

作 品	平面（洋画、日本画、素描、版画、書など） 立体（彫刻、工芸など） 映像（写真、映画、ビデオなど）
補助資料	素材・工程・技法などに関わる補助資料 作品制作に関わる書簡、日記など 上記収集に関わる文献

●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成11	856	34	10	17	2	919
平成12	18	1	0	12	0	31
計	874	35	10	29	2	950

●平成12年度 収蔵作品一覧

○寄贈作品

作 家 名	作 品 名	制作年	寸 法 (cm)	素 材 ・ 技 法
山 田 光	陶 標	1971	17.0×16.0×112.0	陶・かき釉・流し掛け
	銀泥 矩形とパイプ	1995	38.5×8.0×56.5	陶・銀泥
	白青磁筒香炉	1985	10.4 × 10.2	白青磁
	白青磁香合（大）	1985	7.5 × 4.8	白青磁
	白青磁香合（小）	1985	6.5 × 4.8	白青磁
粟 辻 博 (カバーデザイン) 内田繁／三橋いく代 (本体デザイン)	フリーフォームチェア			
	「hのパターン」	1968/2000	サイズ不定	綿布（レッド×ピンク）再制作
	「カワラ」	1968/2000	サイズ不定	綿布（オレンジ×イエロー）再制作
	「フィンガー」	1968/2000	サイズ不定	綿布（クロ×ブラウン）再制作
	「縞柄」	1968/2000	サイズ不定	綿布（ブラウン）再制作
	「クレヨン」	1968/2000	サイズ不定	綿布（ブルーMIX）再制作
	「無地」	1968/2000	サイズ不定	綿布（ライトグリーン）再制作
「黄色」	1968/2000	サイズ不定	綿布（イエロー）再制作	
平 松 譲	ノルマンディの古寺	1963/1967	162.0 × 112.0	油彩・キャンパス
中 村 洋 子	浮遊体-外へA-	2000	95×65×70	ミクストメディア

○寄贈資料

作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
萩須高德	目黒、大塚山からの風景	1926	43.5 × 53.0	油彩・キャンバス
関野準一郎	1971年年賀状 (亥)	1970	9.5 × 14.0	木版
	1972年年賀状 (子)	1971	14.0 × 9.0	木版
	1974年年賀状 (寅)	1973	9.5 × 14.0	木版
	1975年年賀状 (卯)	1974	14.0 × 9.0	木版
	1976年年賀状 (辰)	1975	14.0 × 9.0	木版
	1977年年賀状 (巳)	1976	14.0 × 9.0	木版
	1978年年賀状 (午)	1977	9.5 × 14.0	木版
	1981年年賀状 (酉)	1980	9.5 × 14.0	木版
	1982年年賀状 (犬)	1981	14.0 × 9.0	木版
	1982年年賀状 (犬・重ね重ね笑う)	1981	14.0 × 9.0	木版
	1984年年賀状 (子)	1983	14.0 × 9.0	木版
	1985年年賀状 (丑)	1984	14.0 × 9.0	木版
	1986年年賀状 (寅・虎の門)	1985	14.0 × 9.0	木版
1987年年賀状 (卯)	1986	14.0 × 9.0	木版	
松田千草	絵手紙	1999	3 ページ、各32×21	ペン、パステル
	絵手紙	2000	7 ページ、各32×21	ペン、パステル

V. 作品等貸出

1. 作品貸出

作 品 名	作家名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
風 景	菅 井 汲	H12.4.8～H12.6.4 H12.6.24～H12.8.20	兵庫県近代美術館 東京都現代美術館	菅井 汲展
女と猫	中川紀元	H12.5.20～H12.8.5	市立小樽美術館	前衛と反骨のダイナミズム、 大正アバンギャルドから プロレタリア美術へ展
自画像	須山計一	H12.8.5		
パリ市庁舎	梅原龍三郎	H12.9.15～H12.11.14	笠間日動美術館	梅原龍三郎展
サンスの寺院	角 浩	H12.11.4	茨城県つくば美術館分館	角浩－幻想のロマネスク展

2. 教育普及用教材貸出

教 材 名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
引き出し博物館「金属」 引き出し博物館「紙」	H12.11.7～H12.11.30	リビングデザイン センターOZONE	「引き出し21」展実行委員会

VI. 刊行

目黒区美術館年報 平成11年度

発行：2001年2月10日

サイズ：A4

ページ数：72頁



年報平成11年度版

Ⅶ. 区民ギャラリー

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
第3回 ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/4~4/9	6	831
第8回 えふけい会 水彩グループ展	4/11~4/16	6	742
碑文谷彫展	4/19~4/23	5	580
一樹会展	4/25~4/30	6	350
並河座展	5/2~5/7	6	210
MTC#1	5/23~5/28	6	443
カタマリガラス	5/23~5/28	6	620
らゆう会	5/26~5/30	5	350
鉛筆で描く・目黒「私の散歩道」	6/20~6/25	6	218
第6回緑が丘ハ°ステル画同好会作品展	6/20~6/25	6	474
第8回 目黒区美術家協会展	6/28~7/2	5	450
まんさくの会展	7/4~7/9	6	210
千秋工房 第1回作品展	7/5~7/9	5	200
第14回 水耀会展	7/12~7/16	5	262
NAC展	7/12~7/16	5	100
渡邊あしな展 「大地の力」	7/19~7/23	5	210
PAINT CHARABANC ~Super three~ volume1	7/19~7/23	5	144
第10回勤労者美術展	7/28~7/30	3	348
自由アート展2,000「場…その位置」	8/23~8/27	5	400
橋本秋畦個展併催墨洋書道展	8/30~9/3	5	277
五美術大学の学生による日本画展	9/5~9/10	6	398
花結いけ花展	9/16~9/17	2	100
第9回目黒イーゼル会展	9/12~9/17	6	257
エコロジー・アース・アート21	9/20~9/22	3	1,000
第24回区民まつり 区民作品展	9/26~10/1	6	1,291
A'S展	10/4~10/9	6	300
橋本和明作品展 -自然・街・村・人々-	10/11~10/15	5	200
ミレニアム記念 和紙絵展	10/18~10/22	5	553
ATELIER EBIS展 りんごから…	10/18~10/22	5	250
第35回 目黒区文化祭 自主グループ発表会	10/25~10/29	5	400
シボリコミュニティ東京 作品展	10/31~11/5	6	367
2000 ル・コンテ展	10/31~11/5	6	254
目黒区民の華茶道展・茶会	11/11~11/12	2	540

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
生きる喜び 二人展 喜寿・古稀を迎えて	11/14～11/19	6	450
第43回 ユネスコ美術展	11/22～11/26	5	386
第十八回 萌画会展	11/28～12/3	6	437
彩美会展	12/5～12/10	6	253
ENTANI(エンタニ)-12th- 21世紀のアジアン・アートをかいま見る	12/5～12/10	6	350
第八〇回 立正大学書道部学外書道展	12/13～12/17	5	214
TAVI' 派写真展 「世界への雑居10」 終刊号	12/20～12/24	5	183
目黒子ともたち展	1/13～1/28	14	1,281
翠粋酔展	1/31～2/4	5	120
第6回 孝彩会展	1/30～2/4	6	322
「写真、表現」展	2/7～2/12	6	250
杉野女子大学短期大学部生活芸術科卒業記念展	2/15～2/18	4	375
IMAGINATION:LIGHTS&ILLUSION	2/20～2/25	6	400
第7回 ECLECTIC展	2/20～2/25	6	400
おかわり!東京造形大学写真部10周年記念展-そして次の10年へ-	2/27～3/4	6	174
Glue'P 女子美術大学 多摩美術大学 武蔵野美術大学 大学院日本画専攻2000年度修了生合同制作展	3/6～3/11	6	350
メルヘン ～造形～	3/13～3/18	6	150
第4回 ゆうの会・微彩会合同展覧会	3/13～3/18	6	721
ナンバー3	3/20～3/25	6	80
水木会展	3/20～3/25	6	100
水彩画合同展	3/28～4/1	5	280
合 計		297	20,605

○本館と区民ギャラリーを同時に使用した展覧会は除いた。

VIII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくため、ボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ（喫茶コーナー）の運営、アウトリーチ、ワークショップや広報活動補助等を行うことを中心に、幅広い活動を目指している。

(1) ボランティア数 75名

(2) 活動内容

① ラウンジ運営－ラウンジ営業部

活動時間：午後0時30分から午後4時30分まで
(ラウンジ営業時間は午後1時から4時まで)
当番：原則として2名

② ワークショップ－学芸部トイコレクション班

手と目の冒険広場「粟辻博」展

ア.ファミリーワークショップ (TVTボランティアチーム) 目黒区民センター児童館

Cコース『きれいな色、きれいな形－心のもようをあらわそう』

日時：8月16日 1:30p.m.～4:30p.m.

参加者：

イ.Dコース『積木の街 みんなで作る色と形のシンボルタワー』

日時：8月17日 1:30p.m.～4:30p.m.

参加者：

③ チラシなどの発送作業－広報部広報班

年7回 延べ37名

④ トイコレクション活動について－学芸部トイコレクション班

*昨年に引き続き、下記の日程でアウトリーチ活動実施。

6月28日 田道住区センター三田分室

区民センター児童館の出張児童館

2月7日 大岡山小学校学童保育クラブ

⑤ その他

バスツアー、曜日別見学会実施

(3) 年間活動記録

8月19日 「粟辻博展」ボランティア向けキャリアトーク

解説：矢内みどり（学芸員）

参加者：6名

9月24日 バスツアー

参加者：26名

①東村立 富弘美術館 見学

②群馬県立美術館 「オノサトトシノブ展」 「常設展」

見学



『きれいな色、きれいな形－心のもようをあらわそう』



9月24日バスツアー 桐生織物観光センターにて藍染体験

Ⅸ. 美術館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れ、平成12年度は5回目となる。

実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類) 履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

平成12年度 ・実習生 14人
・実習期間 8日～22日間
6月初旬～12月下旬

X. 名簿

(1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同、平成13年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	佐々木英和	目黒区助役
〃	大塩 晃雄	目黒区教育委員会教育長
〃	清野 久利	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
〃	後藤美代子	徳島文理大学文学部教授
〃	市川 政憲	東京国立近代美術館次長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会会長
〃	望月千世子	弁護士
〃	福永 重樹	目黒区美術館長
監事	貝川 肇	東京商工会議所目黒支部副会長
〃	安田 直史	目黒区収入役

(2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同、平成13年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	橋本欣三郎	目黒区議会議員
〃	平野サトシ	目黒区議会議員
〃	小林 国夫	目黒区議会議員
〃	沢井 正代	目黒区議会議員
〃	清原 國雄	目黒区教育委員会委員
〃	吉田 尚生	目黒区立第二中学校長
〃	鍋倉 保彦	目黒区立田道小学校長
〃	櫻井 康雄	都立芸術高等学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	芳賀 力	有識者
〃	田淵 保夫	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	岡田 嘉子	目黒区子ども会連合会副会長
〃	米山 ちよ	目黒区婦人団体連合会会長
〃	勝村次郎介	目黒区住区住民会議連絡協議会
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会常任理事
〃	黛 政男	目黒地区労働組合協議会副議長

(3) 目黒区美術館資料収集委員会

(順不同、平成13年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員長	細野 正信	山種総合研究所
委員	三木 多聞	東京都写真美術館名誉館長
〃	桑原 住雄	武蔵野美術大学名誉教授
〃	長谷部満彦	福島県立美術館長
〃	真室 佳武	東京都美術館館長

XI. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区
敷地面積：2,033.53㎡
建ぺい率：66.45%
容積率：199.61%
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下1階
建物高さ：17.89m
延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
その他：外壁花崗岩貼りジェットパーナー仕上げ（乾式工法）
工期：着工昭和60年12月2日
竣工昭和62年3月31日
設計・監理：株式会社日本設計事務所
建築：株式会社竹中工務店東京本店
空調設備：株式会社朝日工業社本店
衛生設備：足立工業株式会社東京支店
電気設備：中国電気工事株式会社東京支店
昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡
展示室B：170.46㎡
展示室C：65.80㎡
展示ロビー：44.80㎡
ワークショップ：148.47㎡
廊下・階段・その他：203.17㎡
小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡
控室：14.5㎡
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡
小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡
修復室：46.09㎡
小計：148.88㎡

収蔵

収蔵庫A：408.36㎡
収蔵庫B：53.85㎡

前室：48.53㎡
荷解室：62.58㎡
搬出入口：56.57㎡
展示用具室：73.40㎡
エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡
小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡
館長室：32.47㎡
理事長室：24.58㎡
中央管理室：20.64㎡
休養室：24.29㎡
ワークショップ準備室：31.36㎡
映像準備室：14.40㎡
廊下・階段・その他：178.18㎡
小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡
ラウンジ：55.84㎡
ベビーコーナー：5.27㎡
廊下・その他：343.58㎡
小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡
電気室：67.59㎡
エレベーター機械室・自家発電室・その他：129.52㎡
小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

Ⅻ. 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
昭和54年 7月 12月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定 美術館開設準備室設置
昭和55年 3月 4月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
昭和56年 1月 3月 4月 11月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」 目黒区美術博物館建設専門委員設置 目黒区美術博物館（仮称）設置の方針策定 目黒区立美術館（仮称）資料収集委員会要綱を制定
昭和57年 2月 3月 10月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更 第一回資料収集委員会開催－資料収集を開始 区制施行50周年記念事業に位置づけ
昭和59年 2月 10月	目黒区美術館（仮称）基本構想策定（58年6月策定開始） 目黒区美術館（仮称）基本設計策定
昭和60年 3月 6月 8月 11月 12月	目黒区美術館（仮称）実施設計策定 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置 目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作 「プレビュー・目黒区美術館」展開催（11/12－11/17） 目黒区美術館（仮称）新築工事起工式（12/12）
昭和61年 7月 9月 12月	美術館管理運営の財団委託方針決定 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催（9/9－9/15） 目黒区美術館（仮称）新築工事定礎式（12/5）
昭和62年 3月 4月 10月 11月	「目黒区美術館条例」公布 目黒区美術館新築工事落成式（4/14） 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立（10/1） 目黒区美術館開館（11/15）

XIII. 案内

観覧時間：午前10時－午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

年末年始・展示替期間

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- JR山手線目黒駅（西口）、東急目黒線（都営三田線、営団南北線）目黒駅より徒歩10分
- バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口 下車3分

目黒駅より、東急、都営

黒01-大岡山小学校行

黒02-二子玉川園行

黒06-三軒茶屋行

恵73-弦巻営業所行

東98-等々力行

榎之助坂
下車5分

平成12年度

目黒区美術館年報

平成14年2月15日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

印刷——(株)大塚工芸